

# 令和6年度学校評価 結果

川口高等学校

1 実施時期 令和7年1月17日（金）～ 1月24日（金）

2 対象・回収率 （調査方法 質問紙法）

分類	外部評価		自己評価	生徒
対象	保護者	学校運営協議会	教員	1～3年
回答率	65.2%	60.0%	92.9%	95.4%

## 3 調査結果

### (1) アンケート項目の設定と分析の観点

保護者、学校運営協議会委員、教員のアンケートは、学校経営・運営ビジョンの3つの重点目標の6項目から評価項目を立て、同じアンケートに回答する形にした。これにより、三者の評価の違いを回答結果から確認、分析できるようにした。分析の観点は、以下のとおりである。

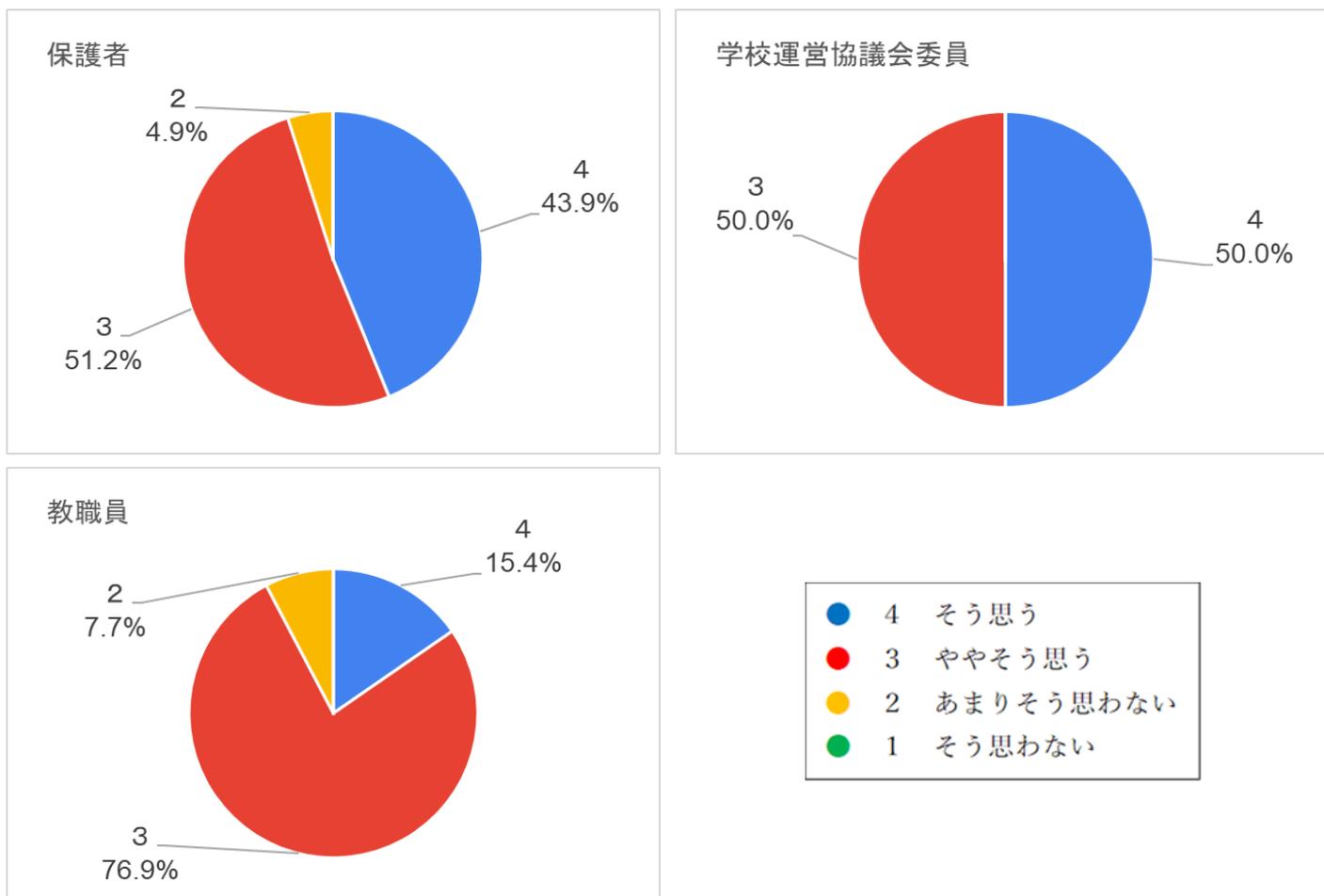
- (1) 三者の評価が同じ状況である場合は、学校運営がビジョンに沿って順調に行われている、又は、その逆に大きな問題があると判断する。
- (2) 三者の評価にずれ（別の傾向の評価）がある場合は、改善を有する問題があると判断する。
- (3) 「そう思う」、「まあそう思う」の回答は、学校運営に対する肯定的な評価と判断する。その中で、「まあそう思う」の評価が「そう思う」上回る場合は、やや評価が低いと判断する。
- (4) 「あまり思わない」、「そう思わない」の回答は、学校運営に対する否定的な評価（問題があるとする評価）と判断する。その中で「そう思わない」とする評価がある場合は、問題が顕著に認識されている内容があり、喫緊に改善を要する事項であると判断する。

- |     |           |
|-----|-----------|
| ● 4 | そう思う      |
| ● 3 | ややそう思う    |
| ● 2 | あまりそう思わない |
| ● 1 | そう思わない    |

#### 4 保護者・学校運営協議会員・教職員による学校運営・経営ビジョンに対する評価アンケートの結果比較

##### (1) 教育活動全般

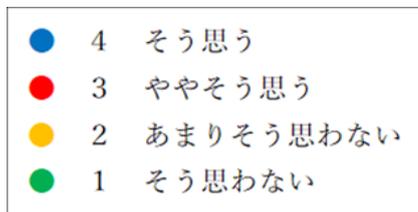
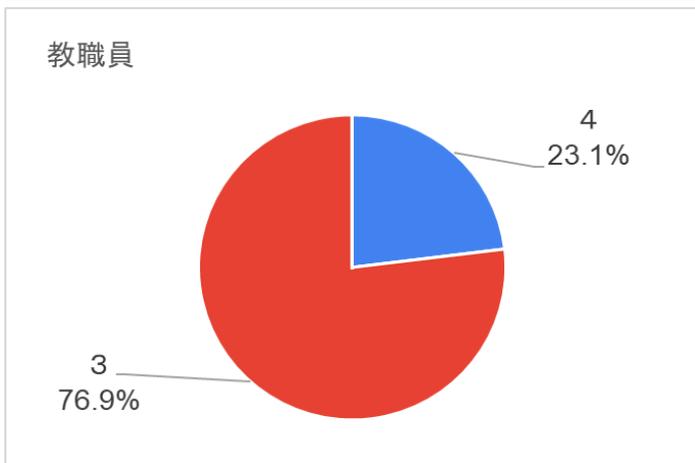
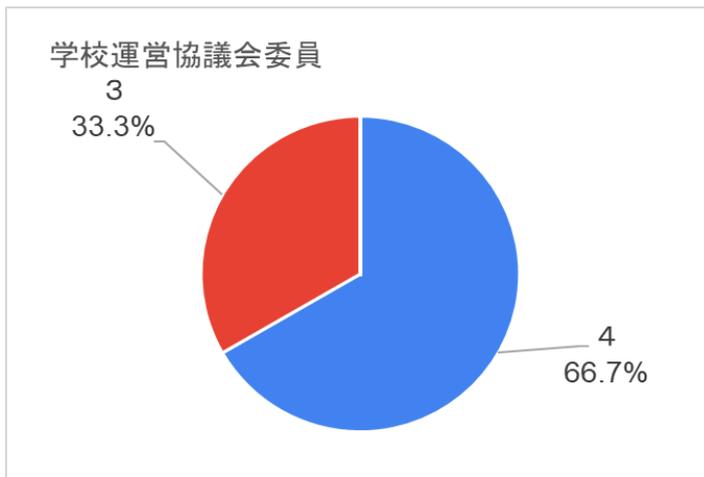
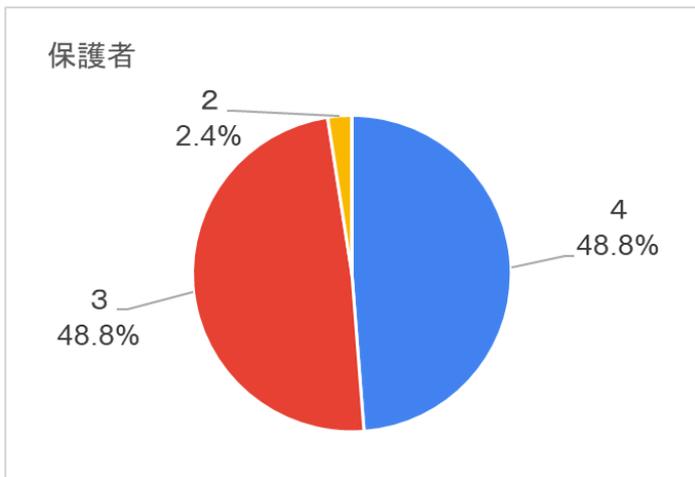
① 本校の教育活動全般に満足している。



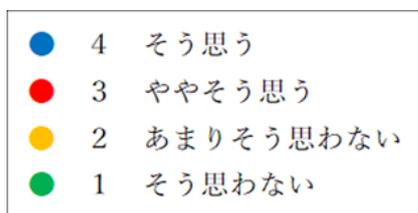
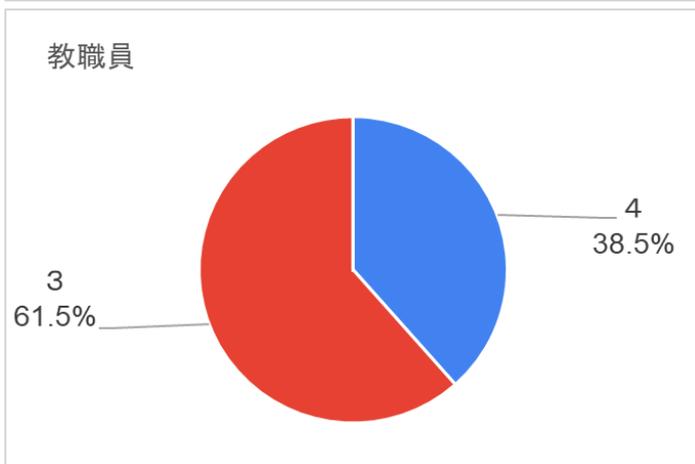
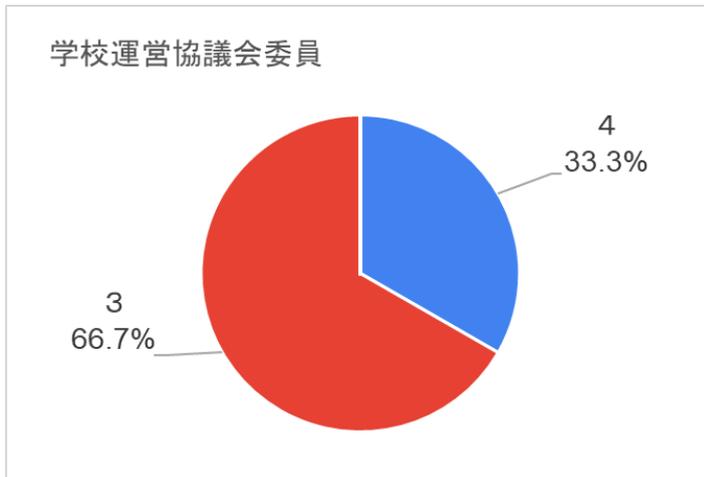
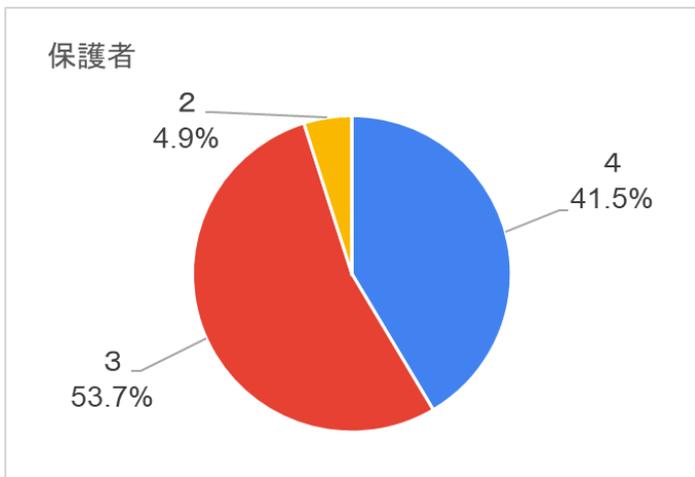
「そう思う」「ややそう思う」の回答がほとんどであるが、「あまりそう思わない」の回答もあり、今以上の教育活動を求めている保護者や行いたい教職員がいることが分かる。今年度の反省を生かし次年度につながるよう努力が必要である。

(2) 学力向上

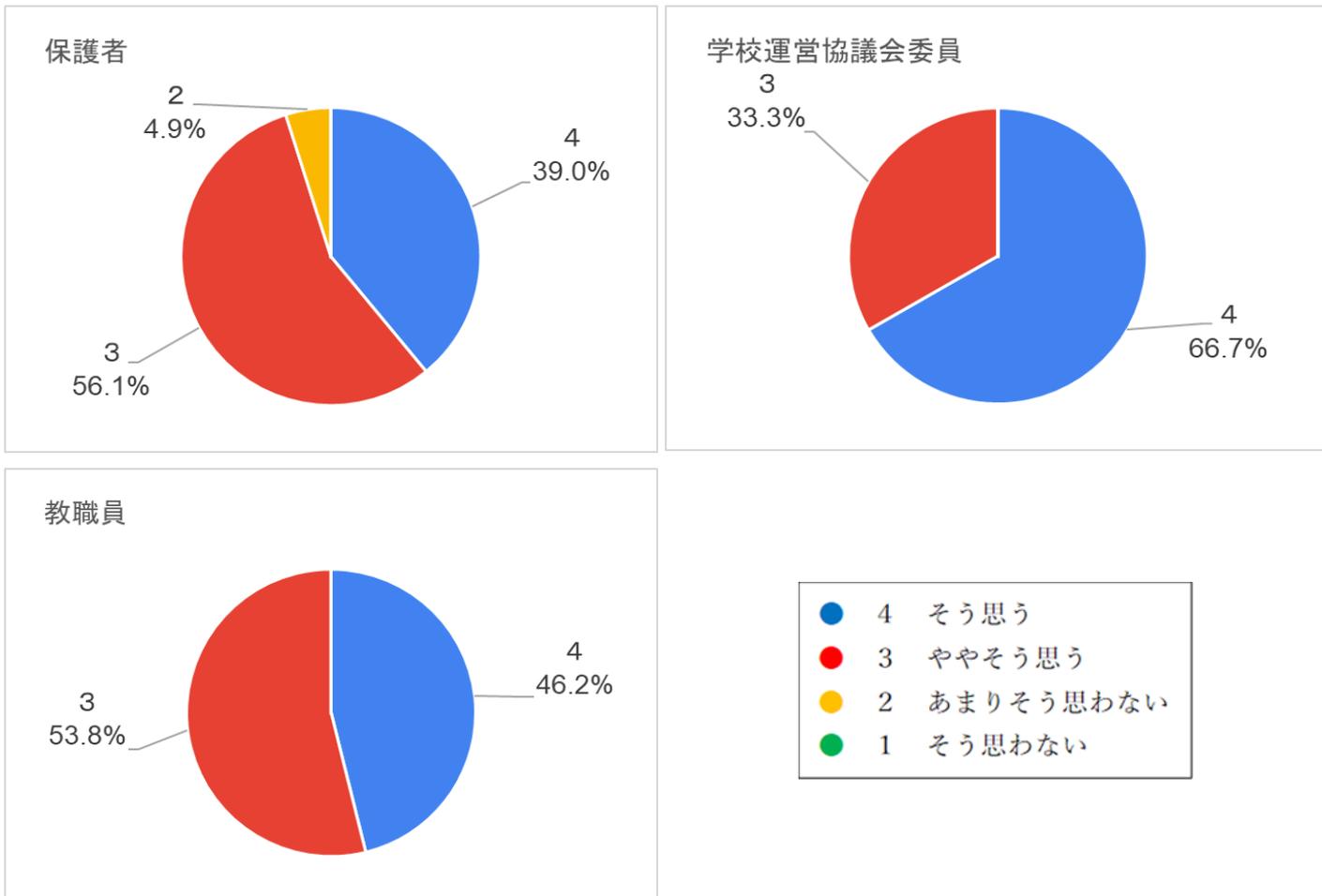
① 学校は、生徒一人ひとりに応じた分かる授業を行っている。



② 学校は、生徒が資格を積極的に取得するようにしている。



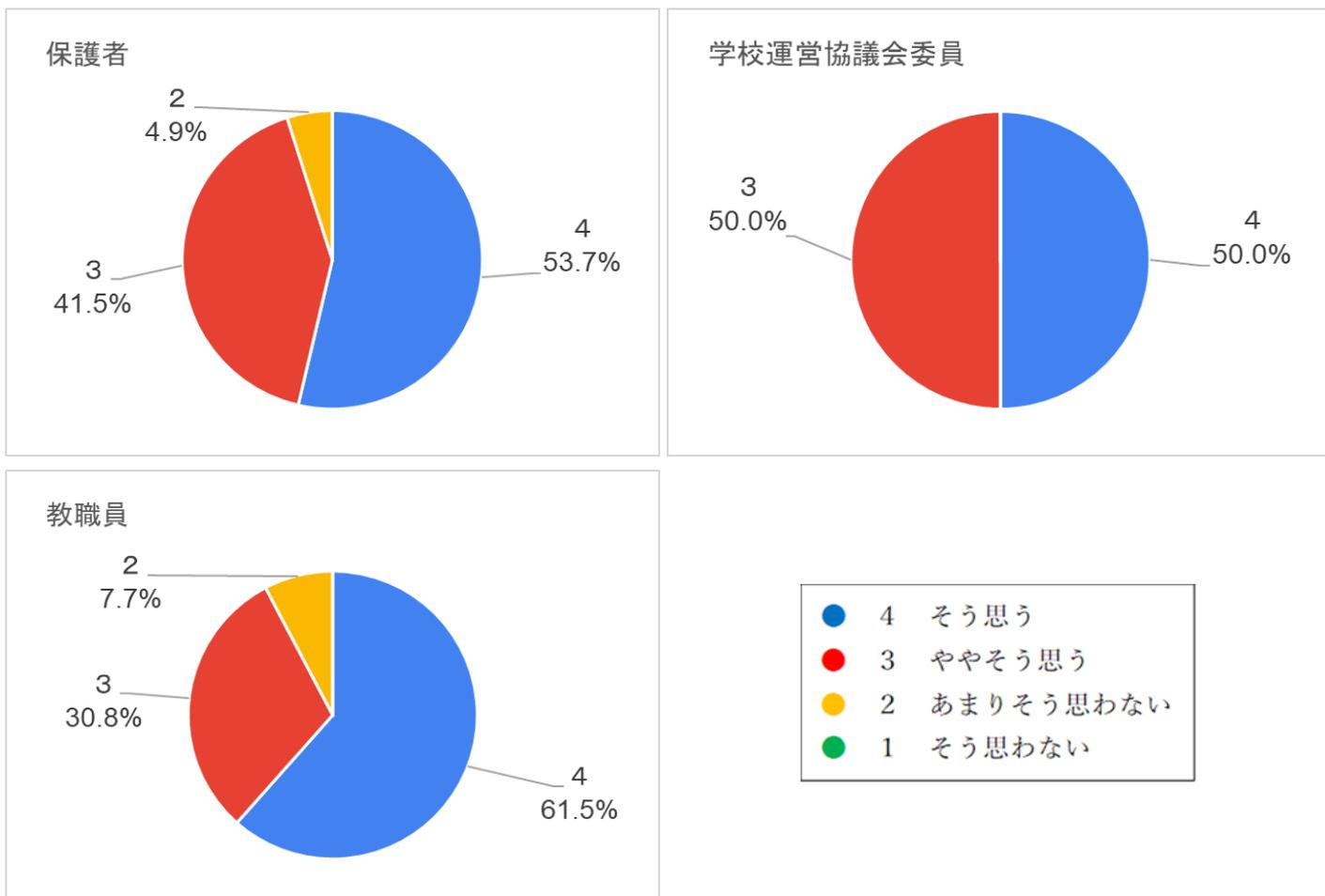
③ 学校は、生徒の進路希望に応じた課外や個別指導を実施している。



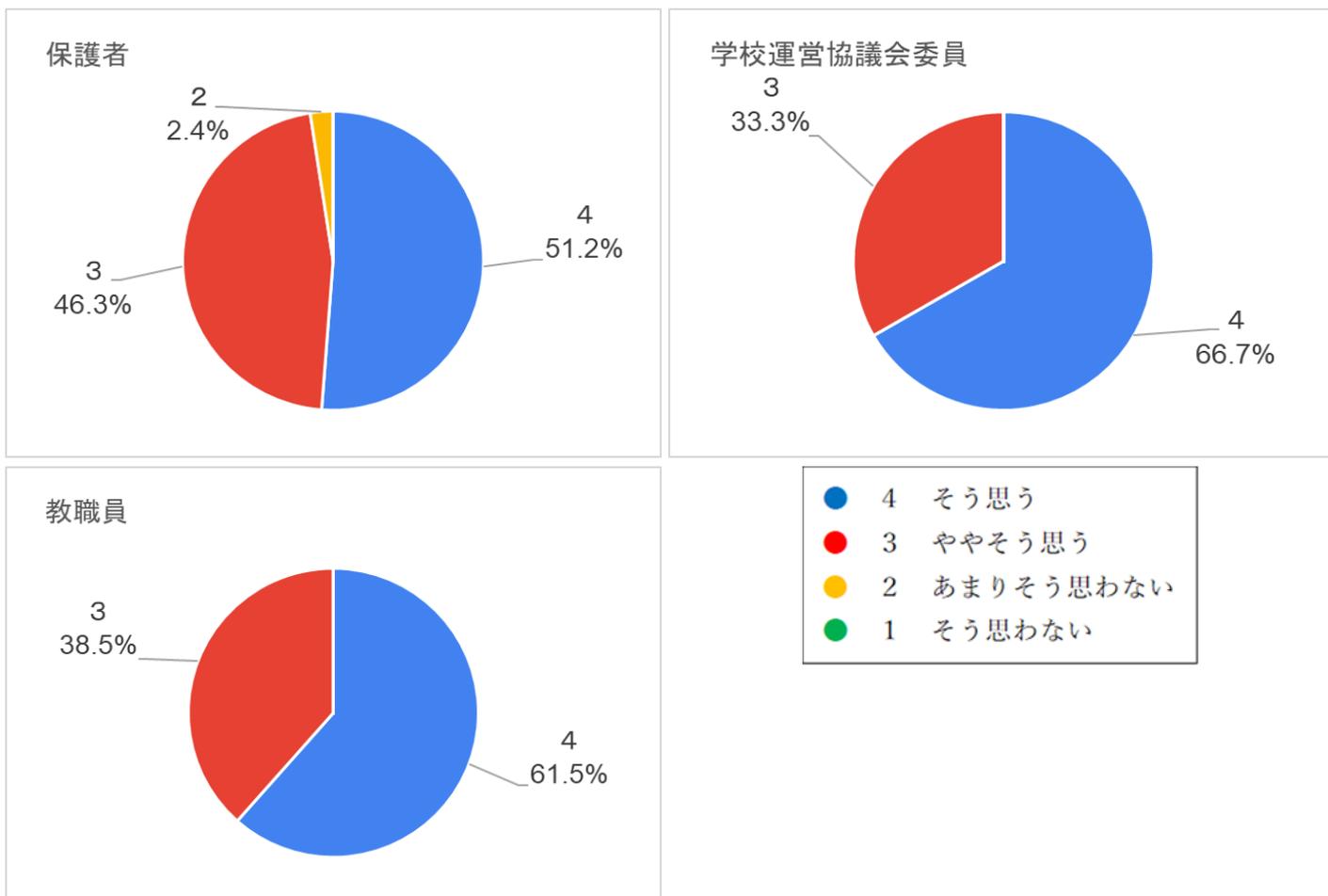
全体的に肯定的な回答が多い。特に昨年、「そうは思わない」「あまりそう思わない」の回答のあった検定においても、肯定的な回答が増えた。昨年度の反省を踏まえ、取り組んできた成果と思われる。それぞれの質問に対して保護者の回答に「あまりそう思わない」という回答も見られるため、次年度に向けて、わかる授業の実践、資格取得の推進、進路希望に応じた個別指導の充実が求められる。

### (3) 進路実現

① 学校は、生徒の3年間を見据えて、進路希望調査や進路相談などを行っている。



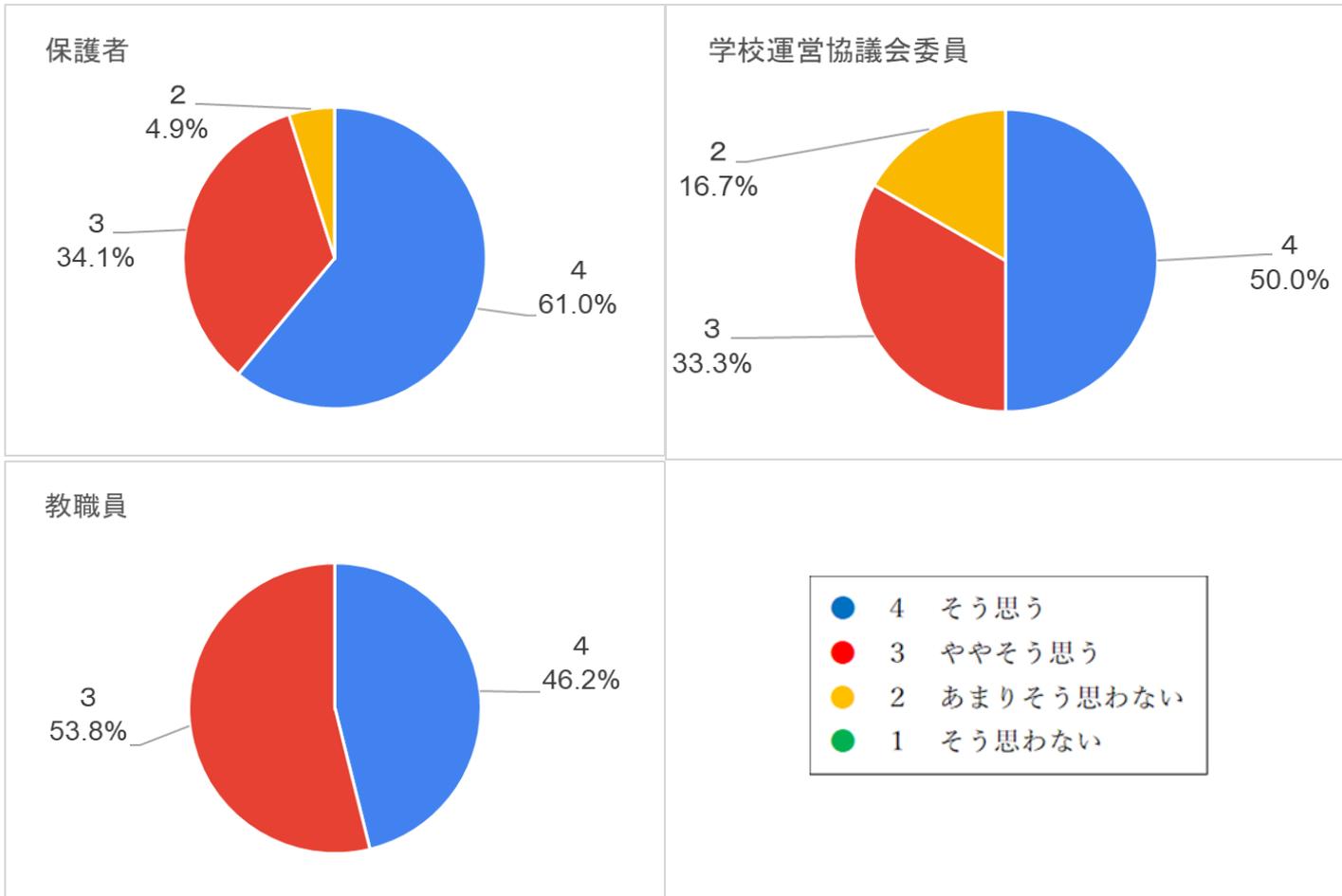
② 学校は、進路に関する講座や企業説明会などの進路関係行事を行い、進路意識の向上に努めている。



保護者と教職員から「あまりそう思わない」という回答が見られる。全体的な満足度が高いことから、進路活動を増やすというよりも、保護者に本校の進路活動の取り組みを知ってもらうことや進路に悩んでいる生徒へのサポート等が必要である。

(4) 基本的な生活

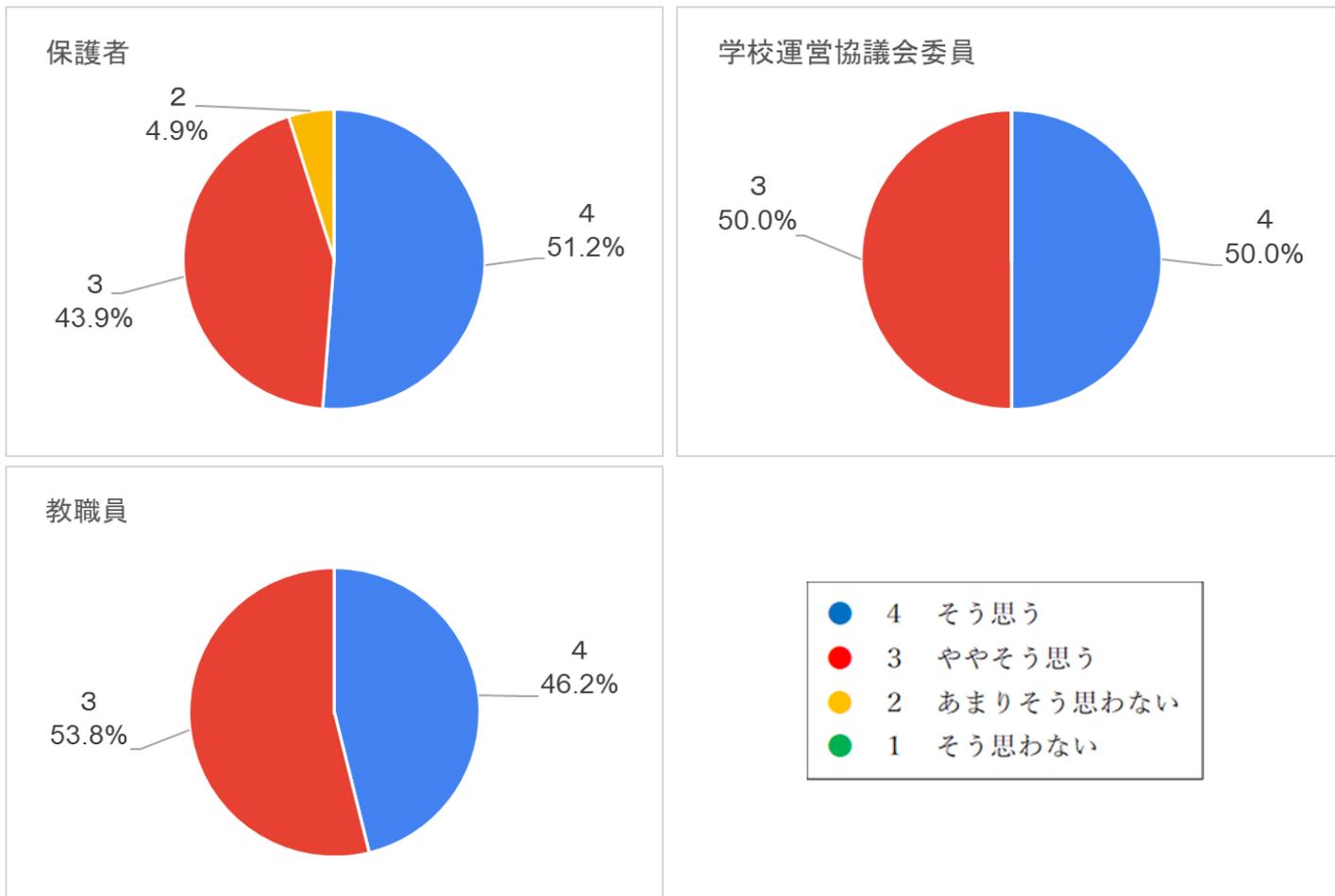
① 学校は、生徒が礼儀やマナー、社会人として必要な規範意識を身につけられるよう指導を行っている。



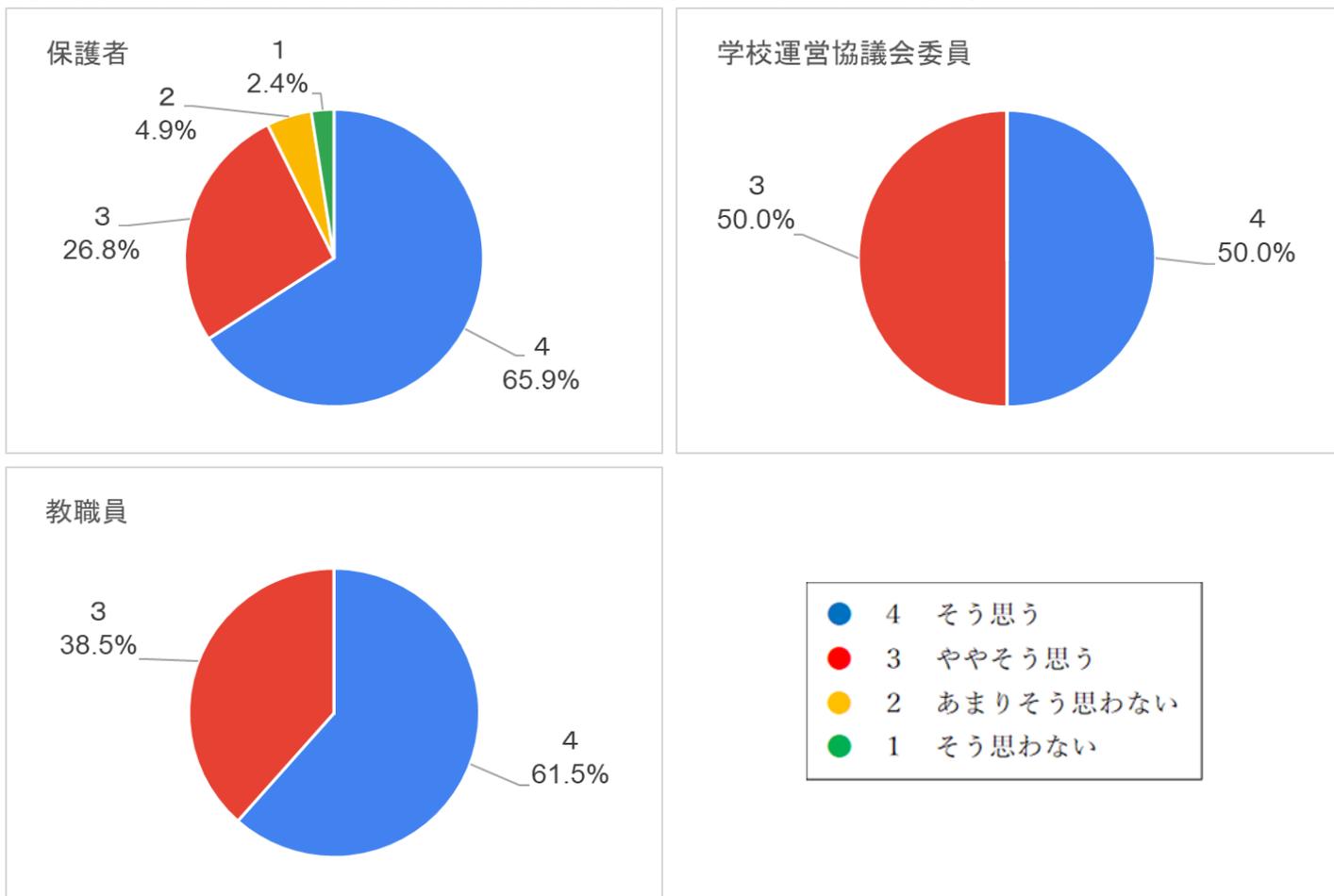
保護者および学校運営協議会委員の両者ともに「あまりそう思わない」という回答があった。生徒アンケートも合わせて参照すると、一部、生徒の礼儀やマナーが身につけていない様子が見られる。日頃からの継続的な指導が必要である。

(5) 健全な心と身体

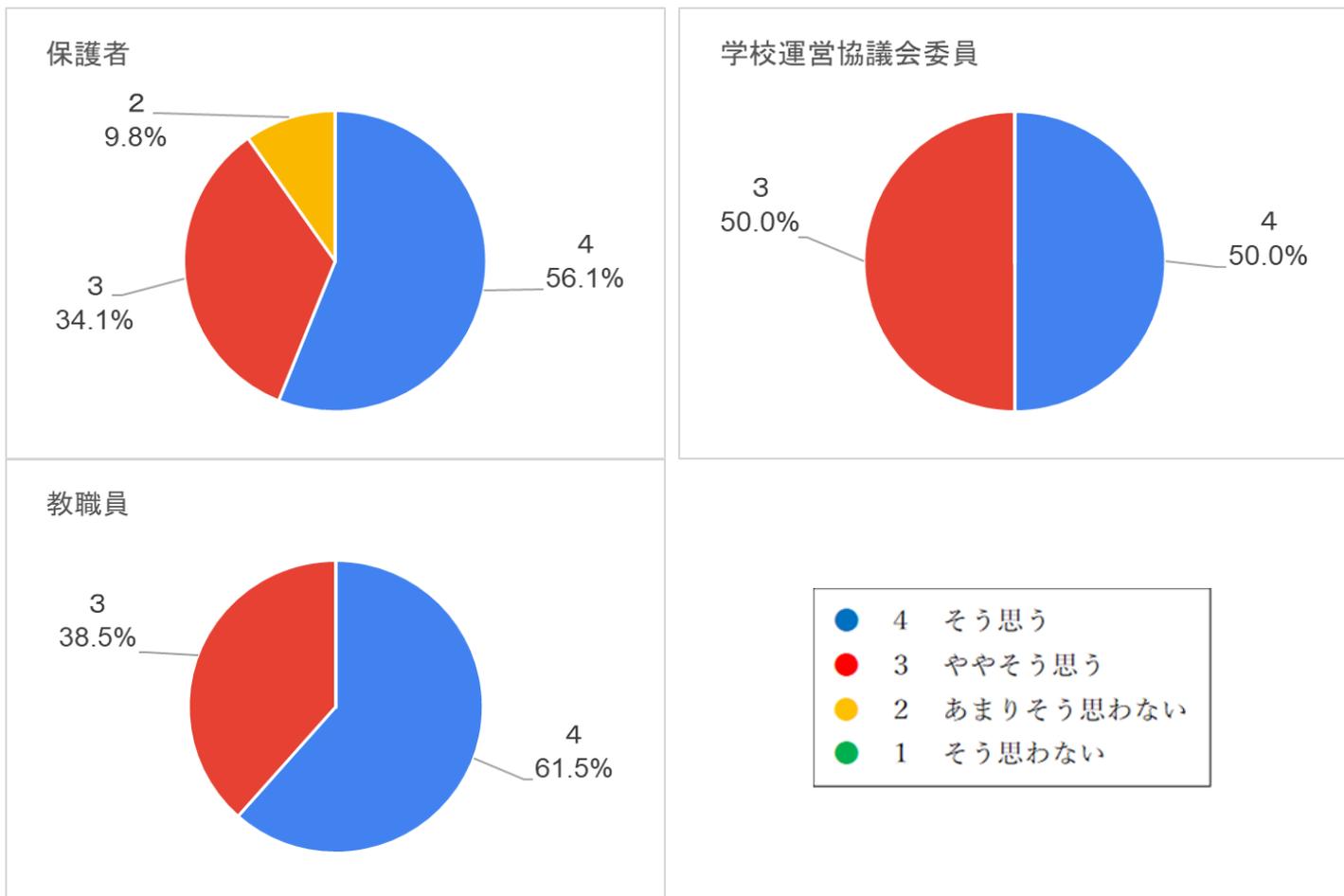
① 学校は生徒が自他の命と心を大切にする教育に努めている。



② 学校は、生徒が部活動、生徒会活動、学校行事に積極的に参加するよう指導している。



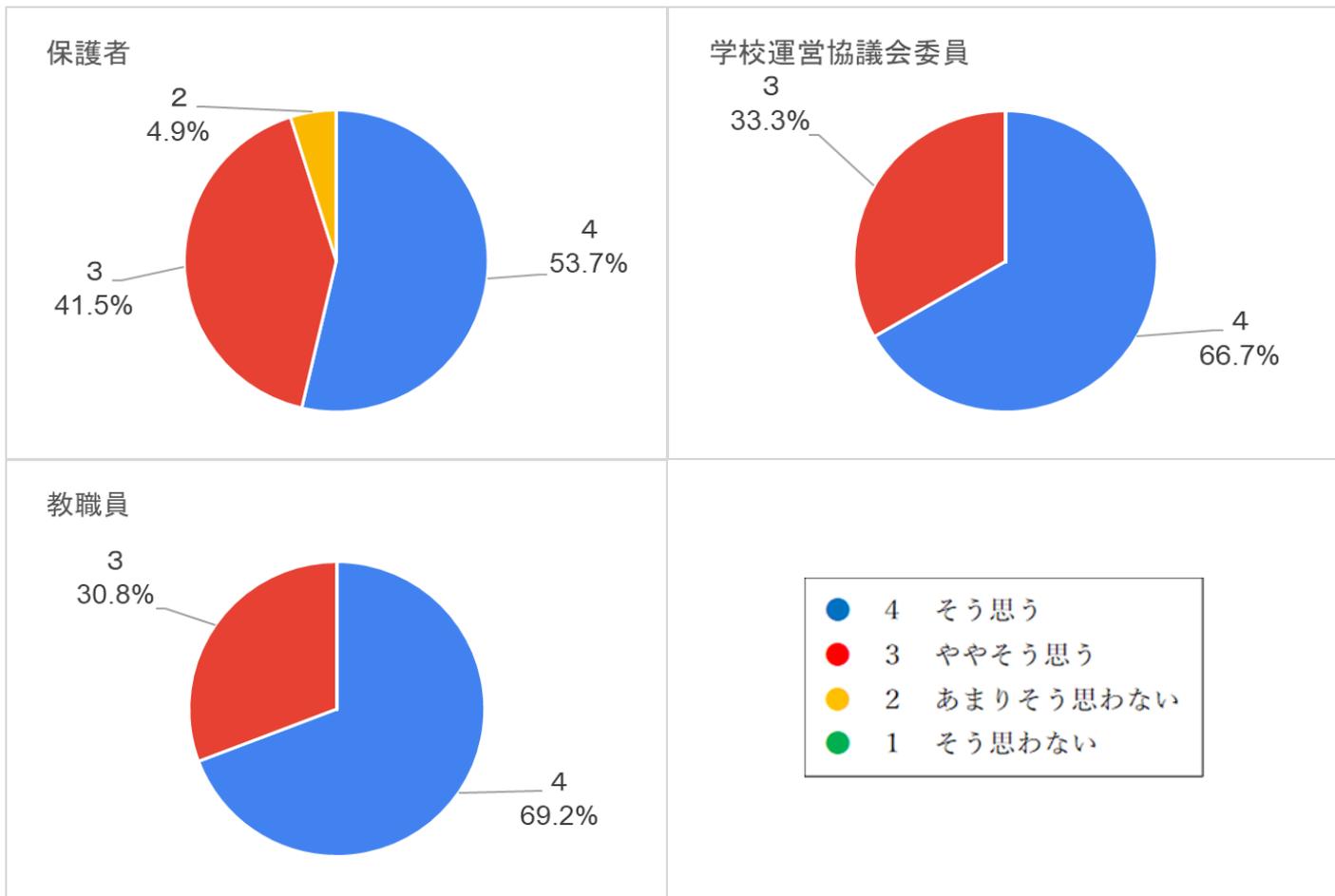
③ 学校は、生徒一人ひとりの相談に対して、十分に対応している。



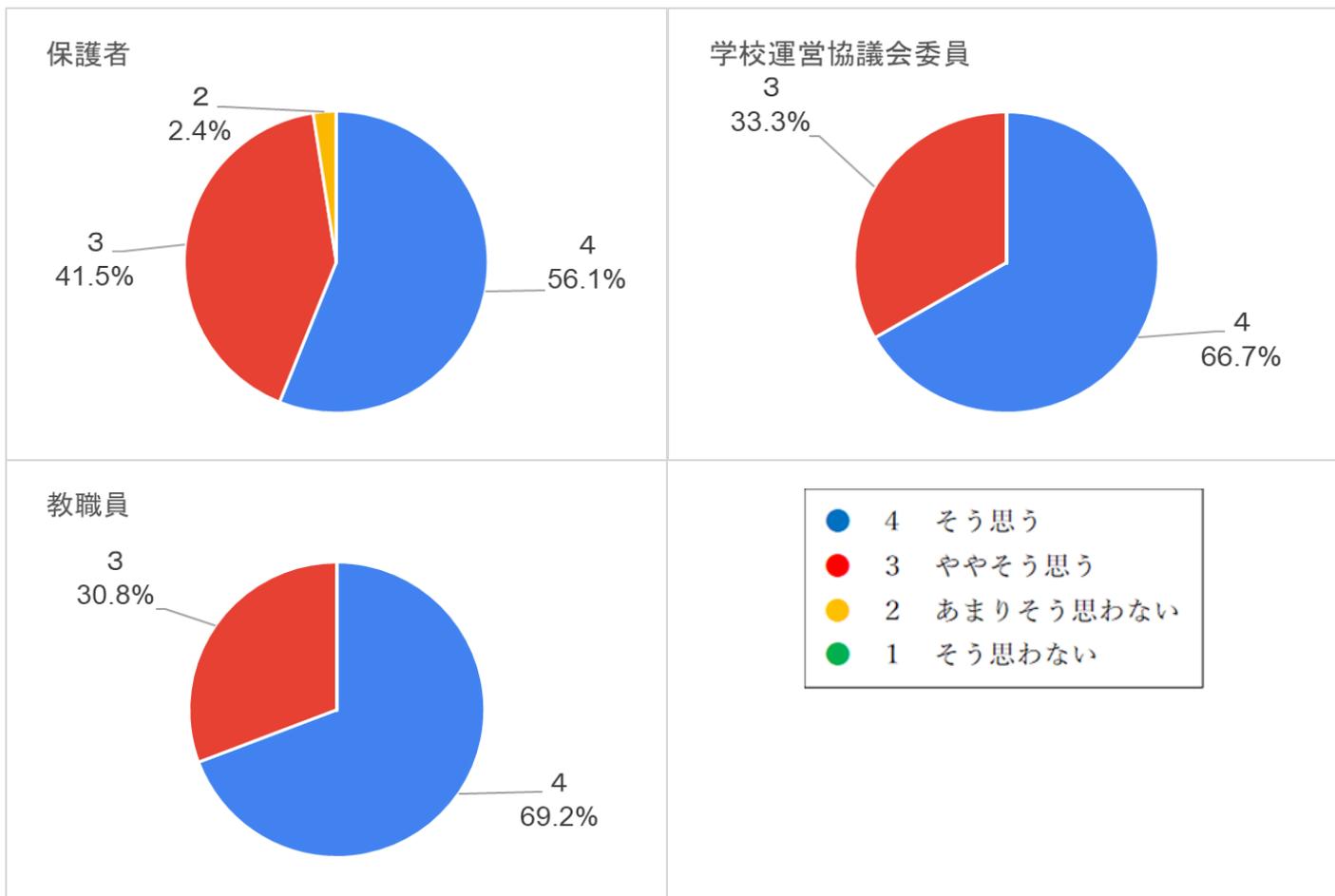
全体的には肯定的な意見の回答が多いが、保護者のみ「そう思わない」「あまりそう思わない」の回答が見られる。部活動・学校行事等の積極的な参加への働きかけを行いながら、継続的な指導を行うことが必要である。また、ホームページ等を活用し、保護者へ学校の取り組み等の情報提供なども、今以上に行う必要がある。

(6) 安全

① 学校は、生徒が安全に学校生活を送れるよう、施設・設備の維持・管理に努めている。

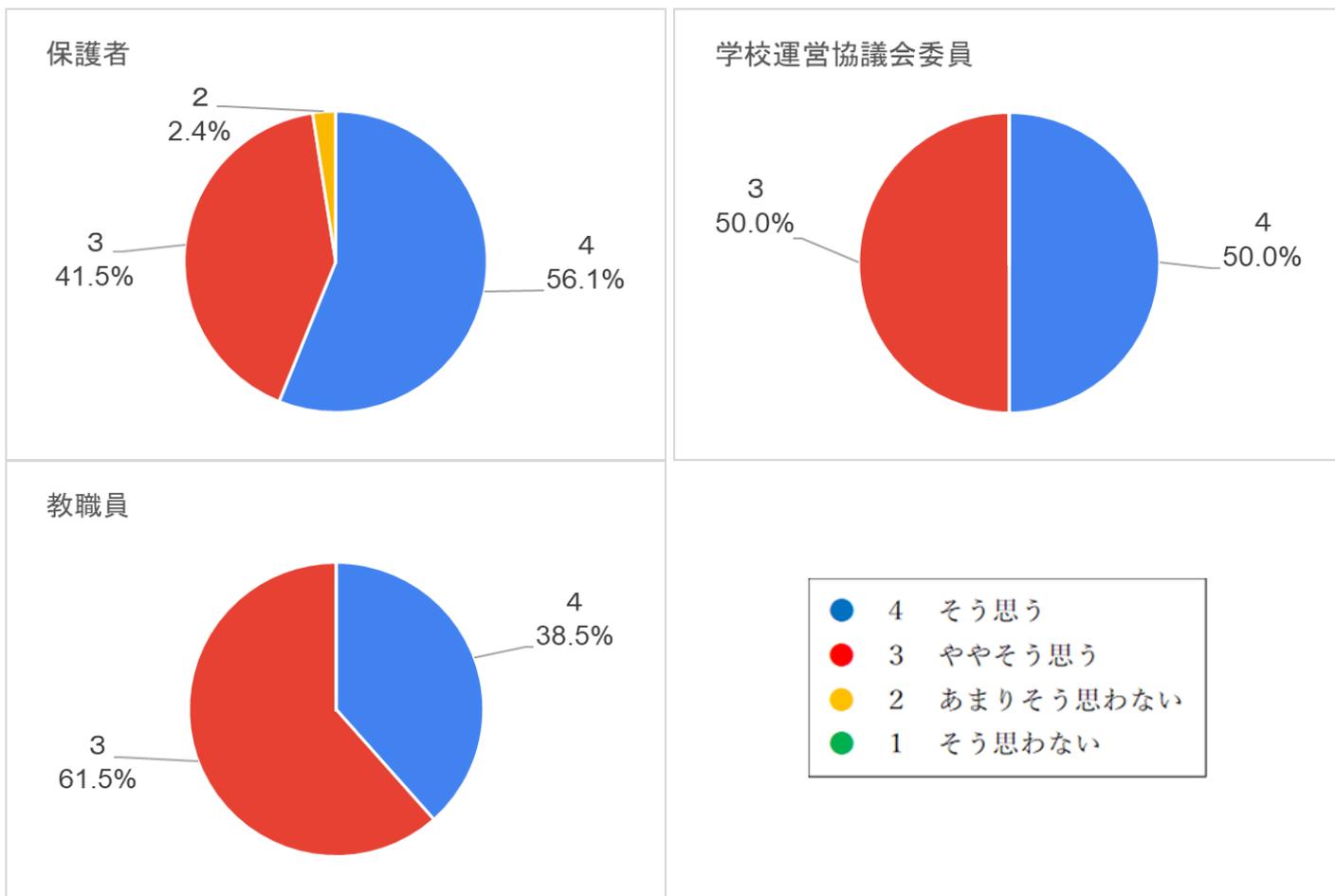


② 学校は生徒が清潔な環境で生活し、学ぶことができるように、学校内外の清掃などの美化活動に努めている。

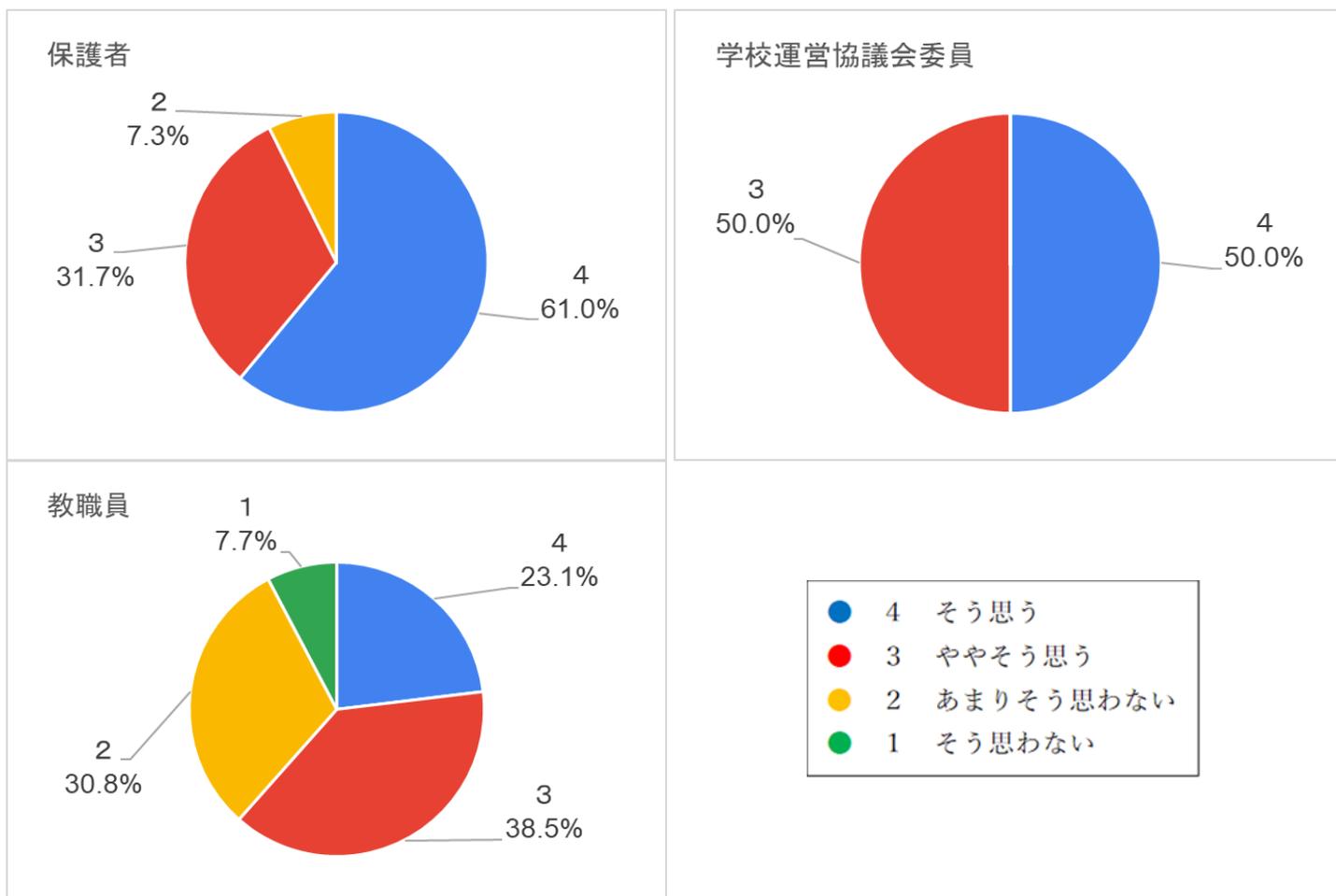


(7) 地域に根差す

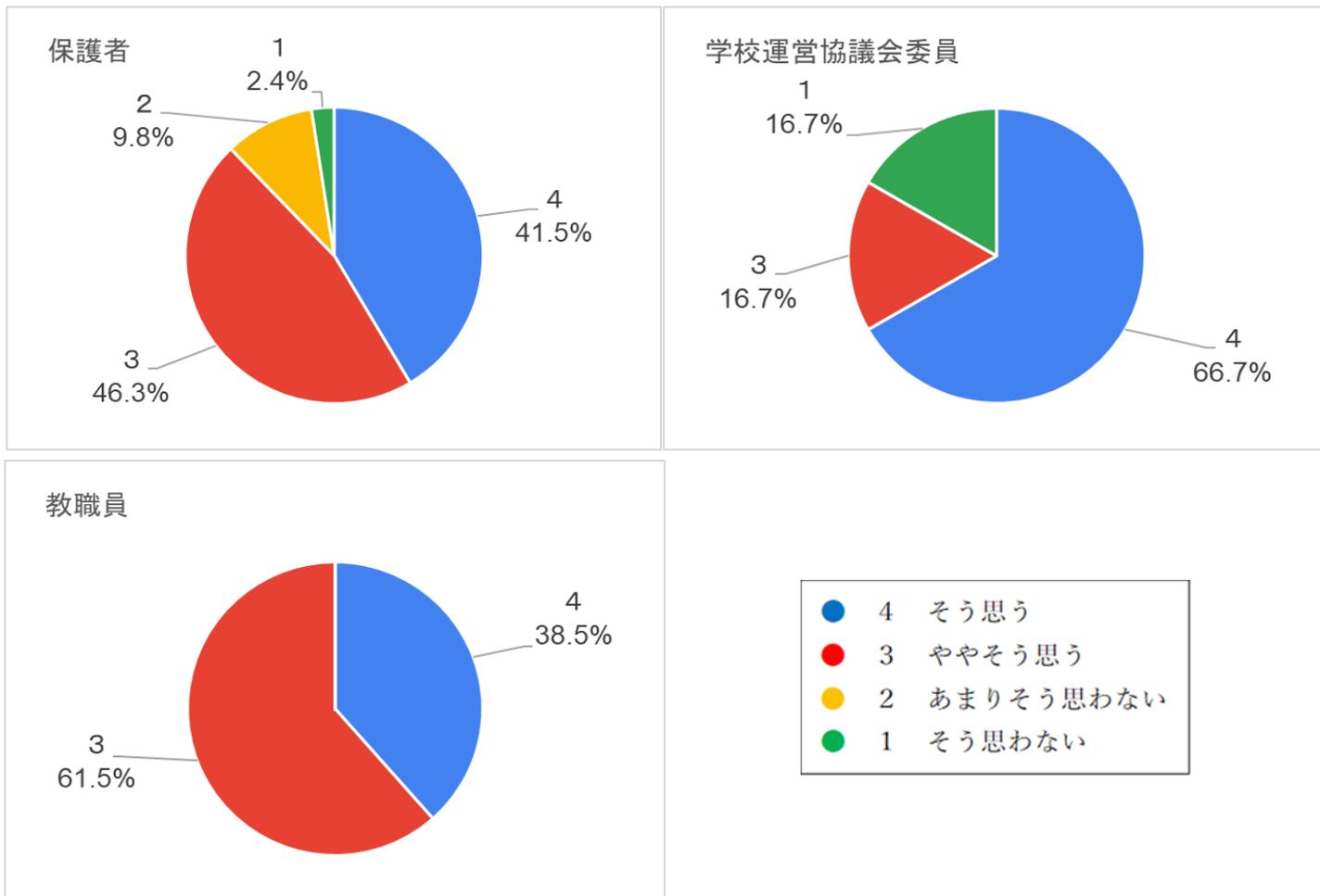
① 学校は、地域の発展に貢献する人材を育てるため、総合的な探究の時間の授業を工夫して行っている。



② 学校は地域のボランティア活動に積極的に参加するようにしている。



③ 学校は、広報の定期的な発行や学校HPの更新を行い、情報発信に努めている。

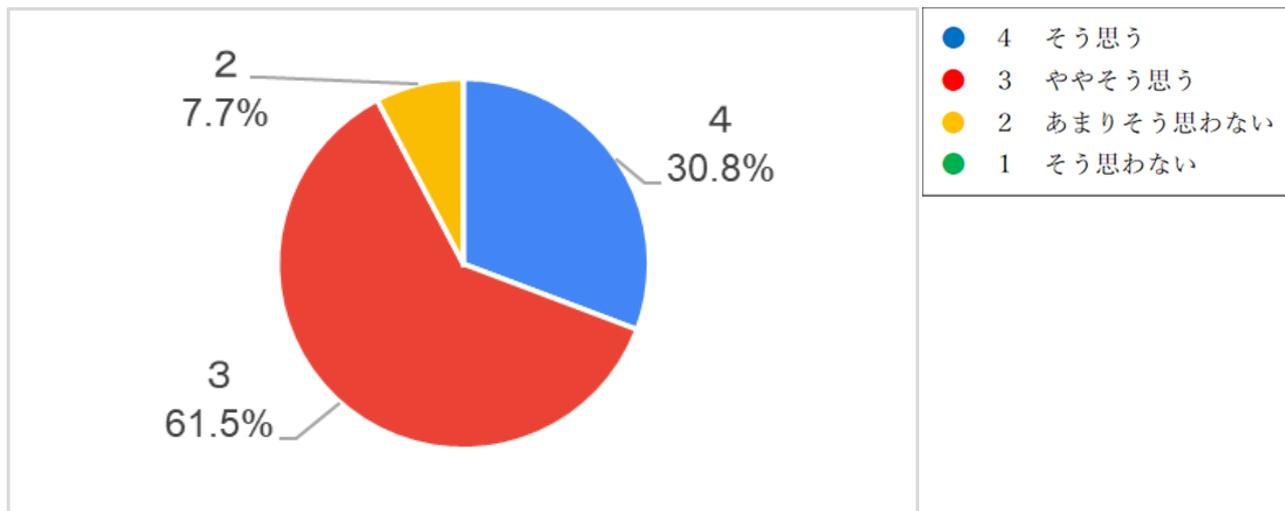


1.2.では保護者および学校運営協議会委員において肯定的な回答が多い。本校で行っている総合的な探究の時間等の成果が評価を受けていると思われる。しかし、2については教職員の中では、積極的な参加が不十分であるという認識があり、生徒に地域ボランティア活動へ、積極的な取り組みを意識させていくことが必要である。3.では昨年の反省を踏まえ、HP等へ記事を更新する回数を増やしたり、行事においてポスター等を活用した広報を積極的に行ったが、保護者及び学校運営協議会委員において「そう思わない」「あまりそう思わない」という評価もあり、今後、さらなる情報発信に努めなければならない。

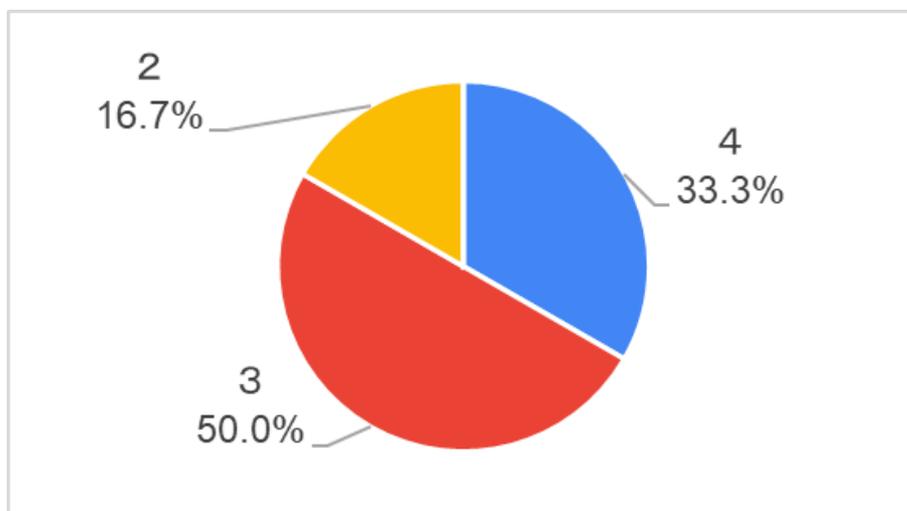
## 5 教職員による学校経営・運営ビジョン・授業指導の自己評価アンケート結果(授業)

(1) 授業(授業を担当している教員のみ回答)

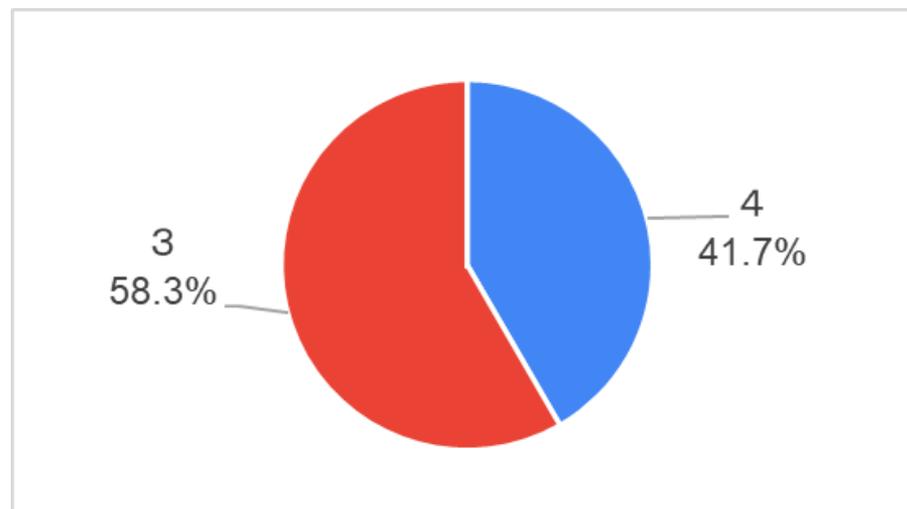
① 教材研究を十分に行って授業をしている。



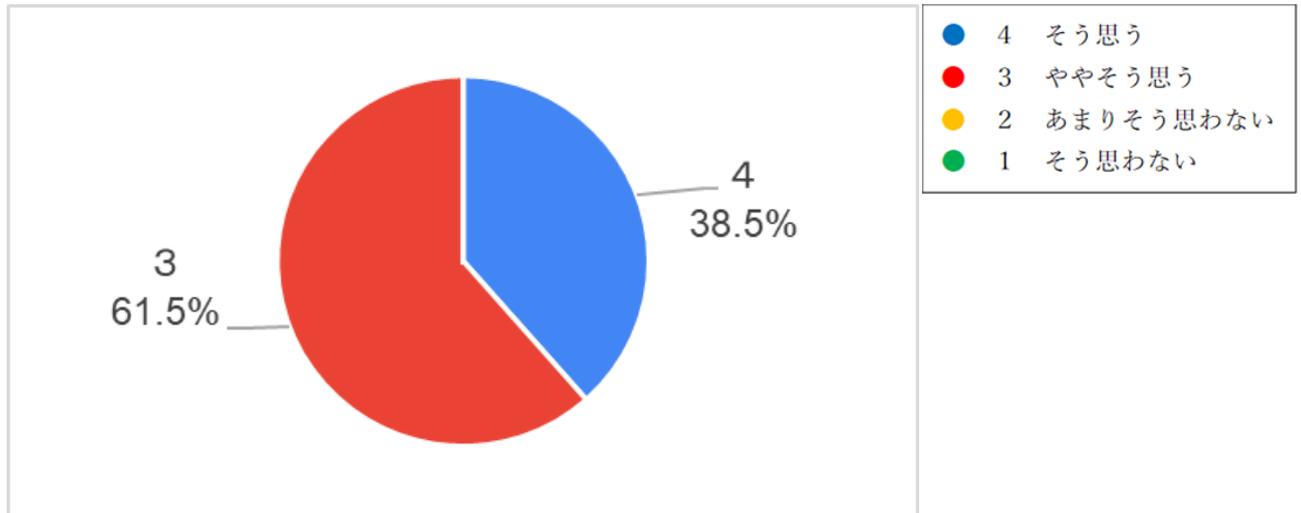
② 生徒が集中して授業に取り組めるように工夫をしている。



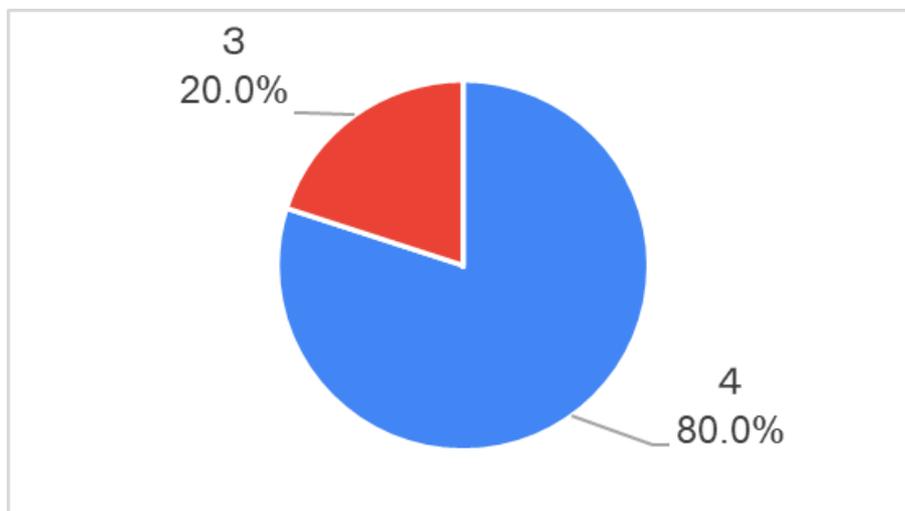
③ 生徒一人ひとりの学習到達度に配慮し、分かりやすい授業をしている。



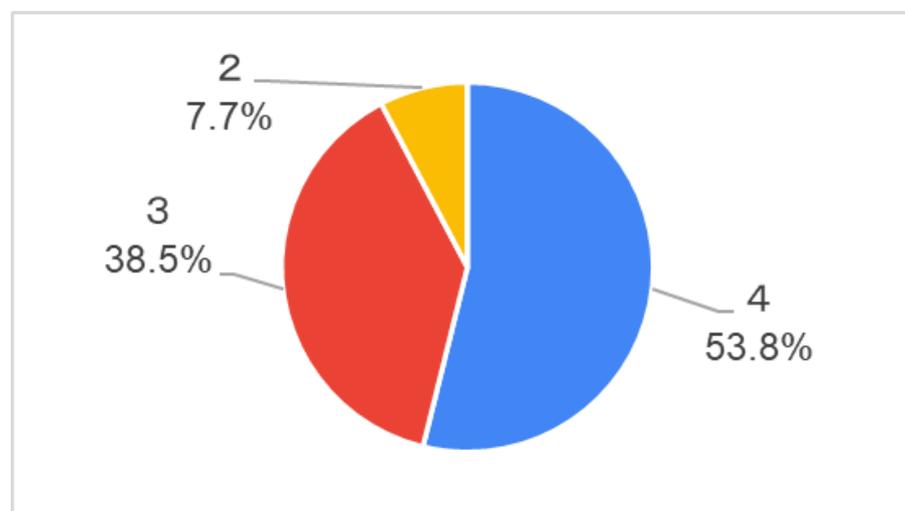
④ 生徒の学力に応じた適切な課題を与えている。



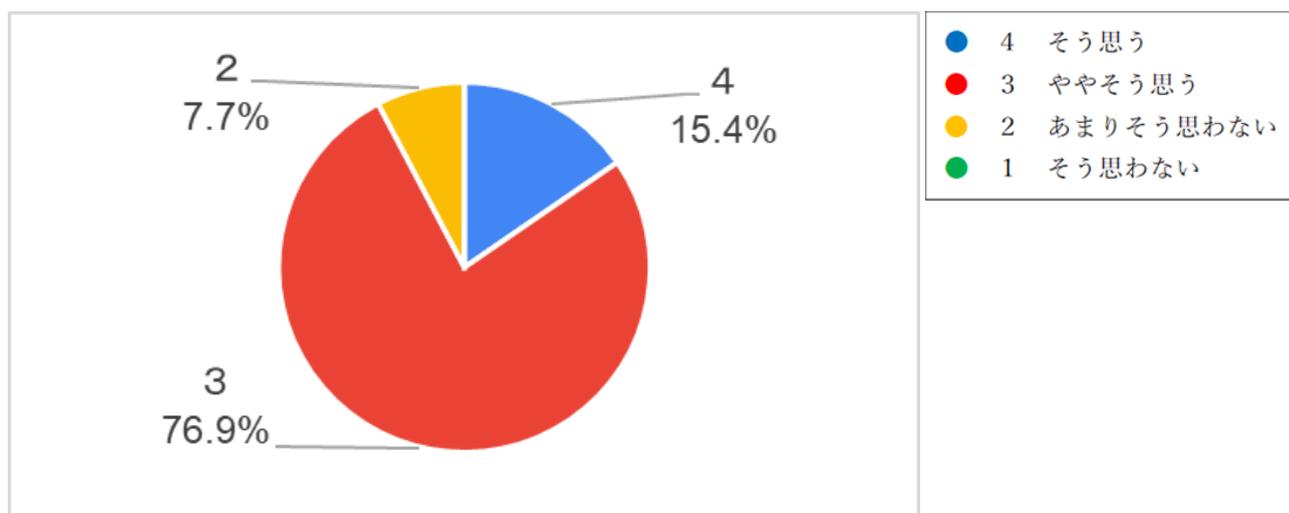
⑤ 習熟度授業による効果が最大限に発揮できるような指導をしている。(該当教科のみ)



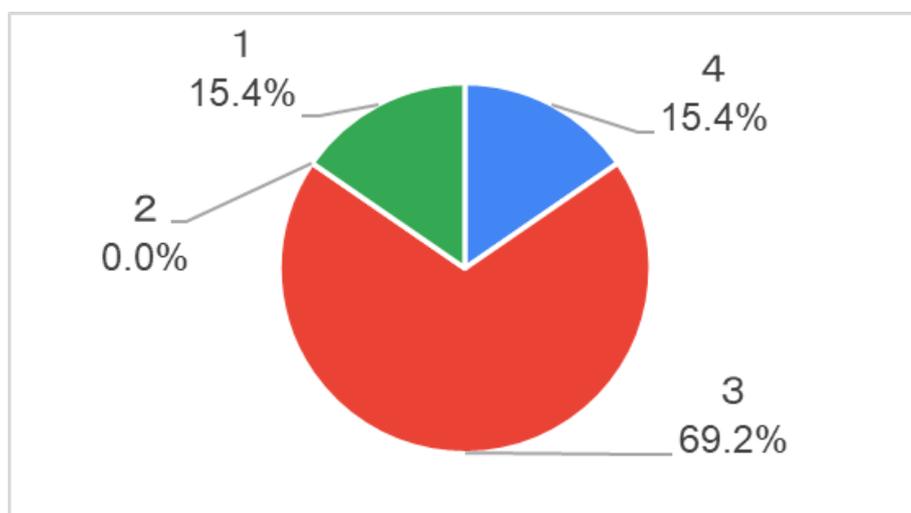
⑥ 進路希望別に対応できるように授業を工夫している。



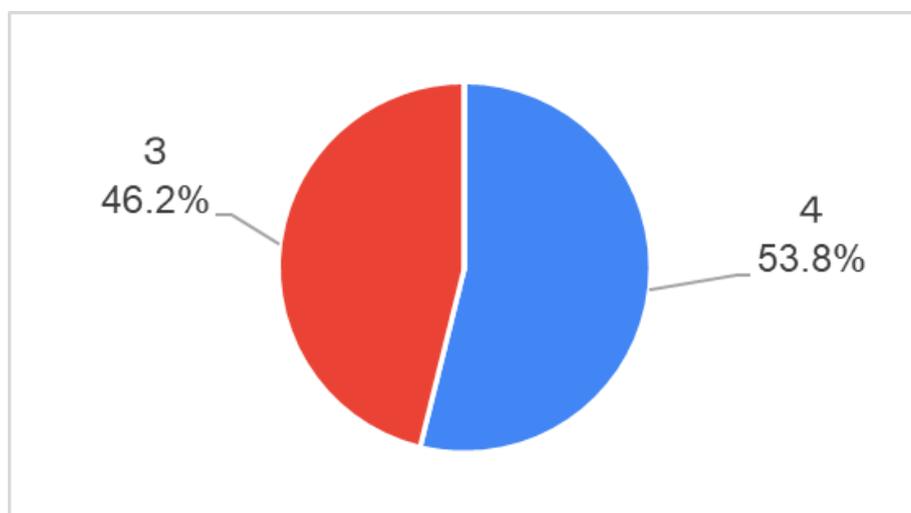
⑦ 提出された課題(宿題)に対して、コメントを添えるなど事後指導を丁寧に行っている。



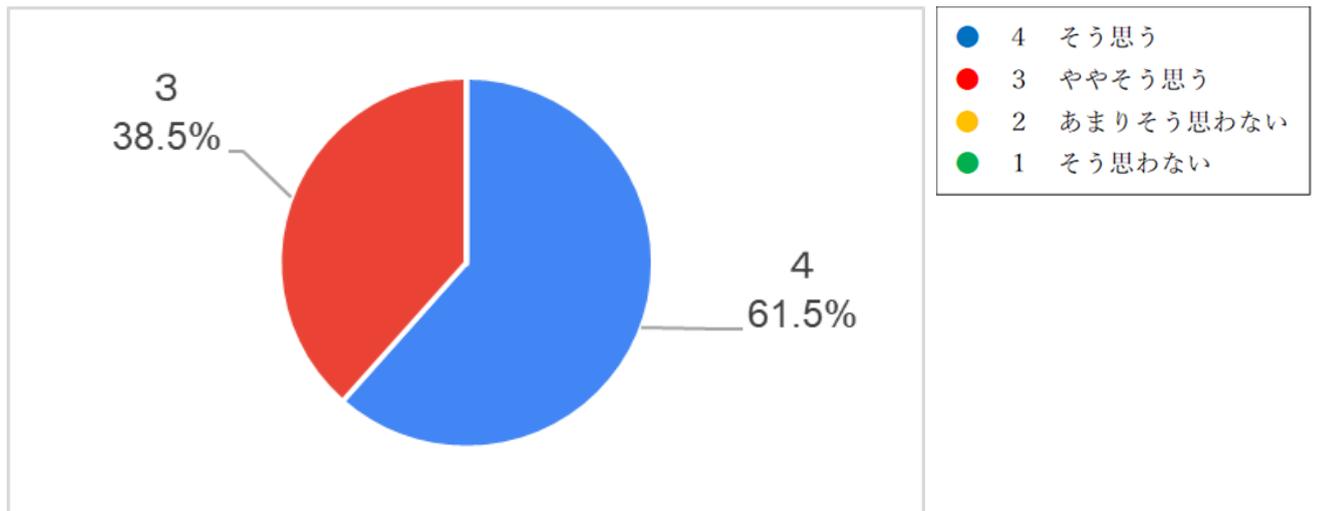
⑧ 年間学習指導計画どおりに授業を実施している。



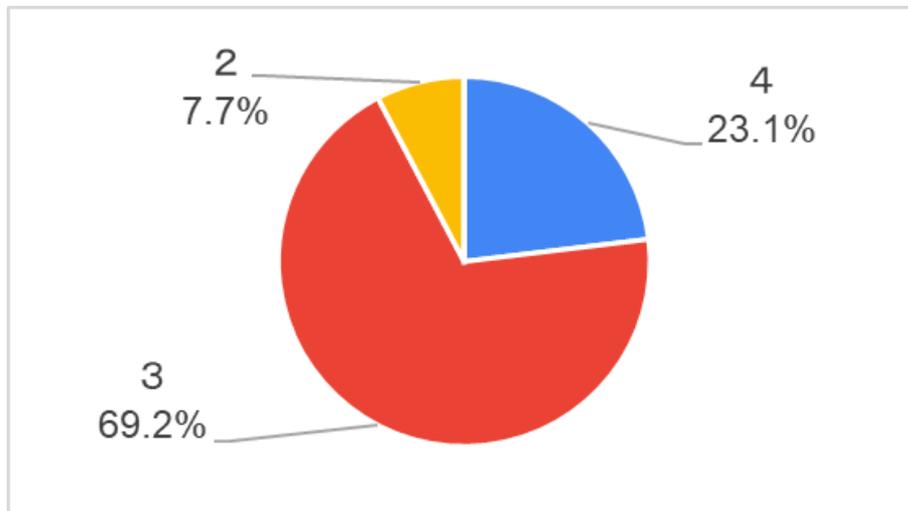
⑨ 各種研修会や研究授業を活用して授業力の向上に努めている。



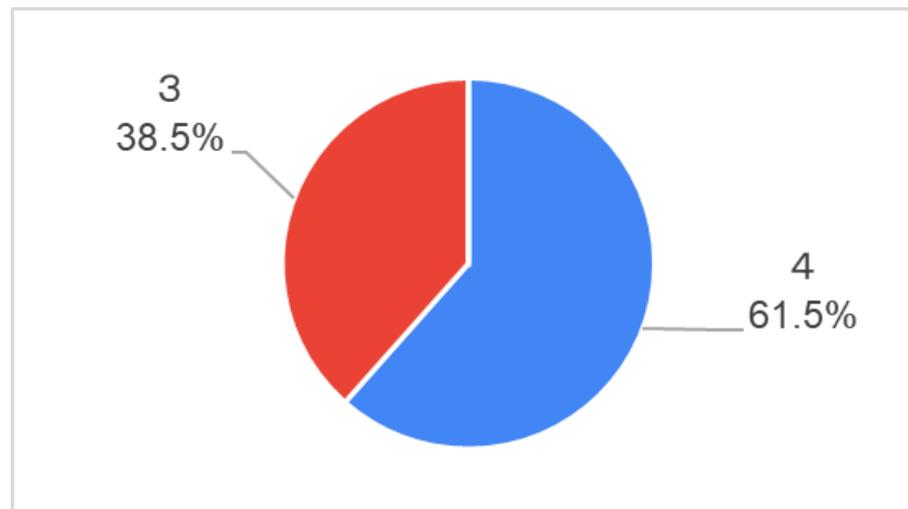
⑩ 生徒が聞き取りやすいよう、声の大きさや話し方に留意している。



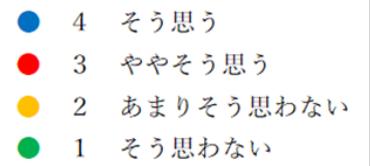
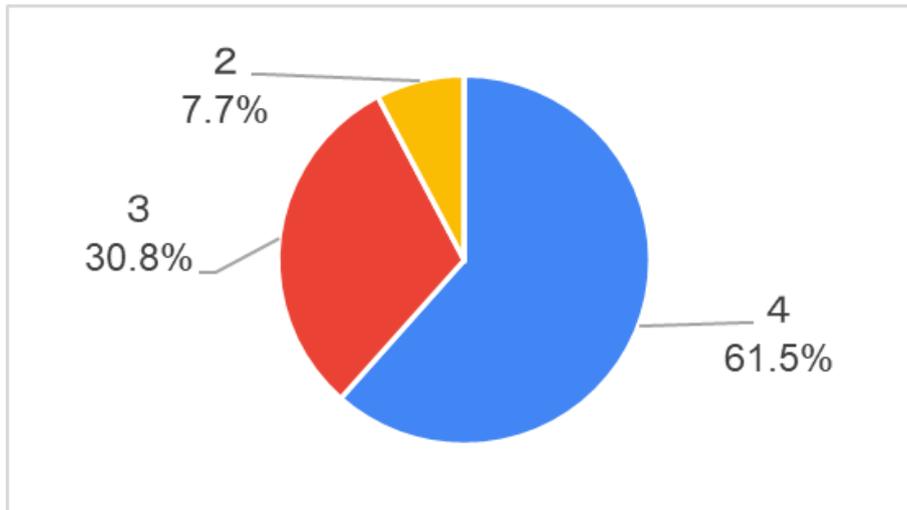
⑪ 授業の板書を的確に行っている。



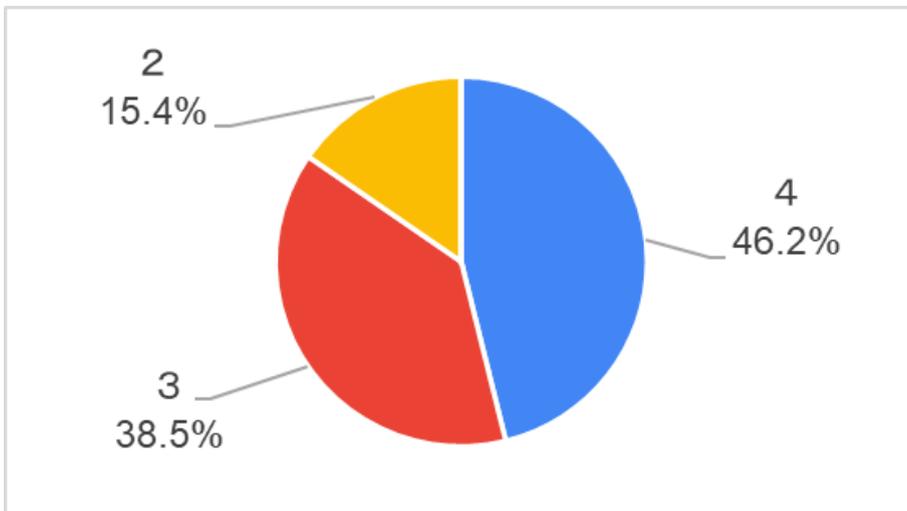
⑫ 生徒からの質問に対して丁寧に答えている。



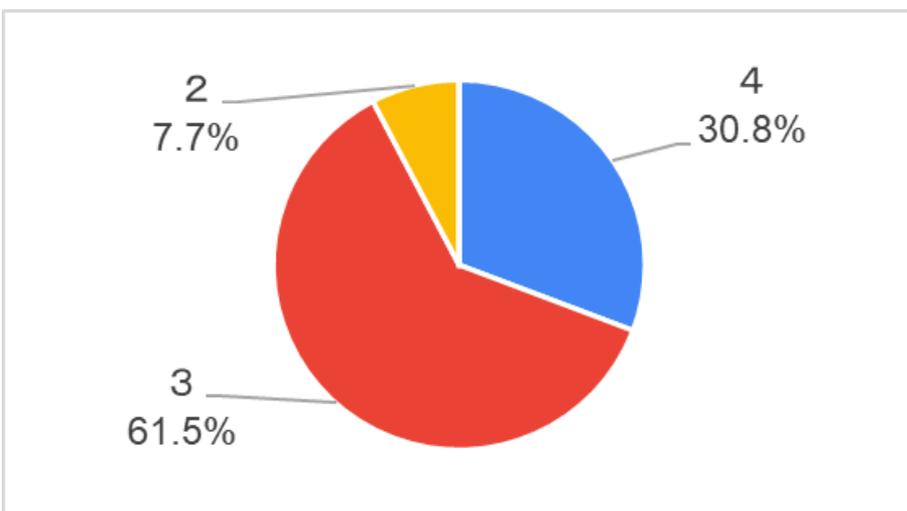
⑬ ICT機器を有効に活用して授業を行っている。



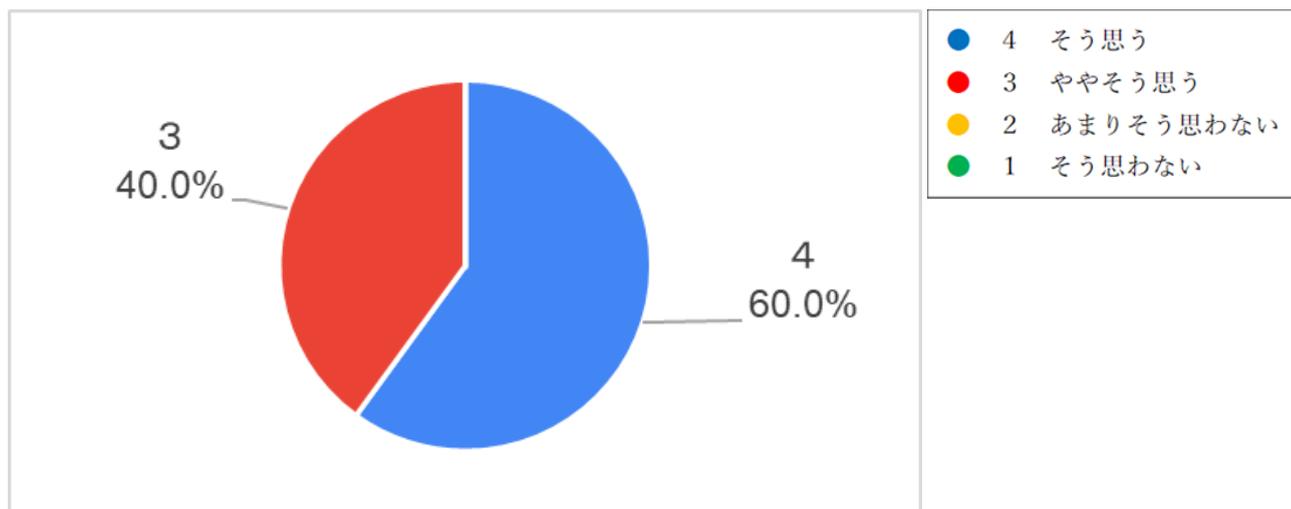
⑭ 時間通り(チャイム通り)に授業を行っている。



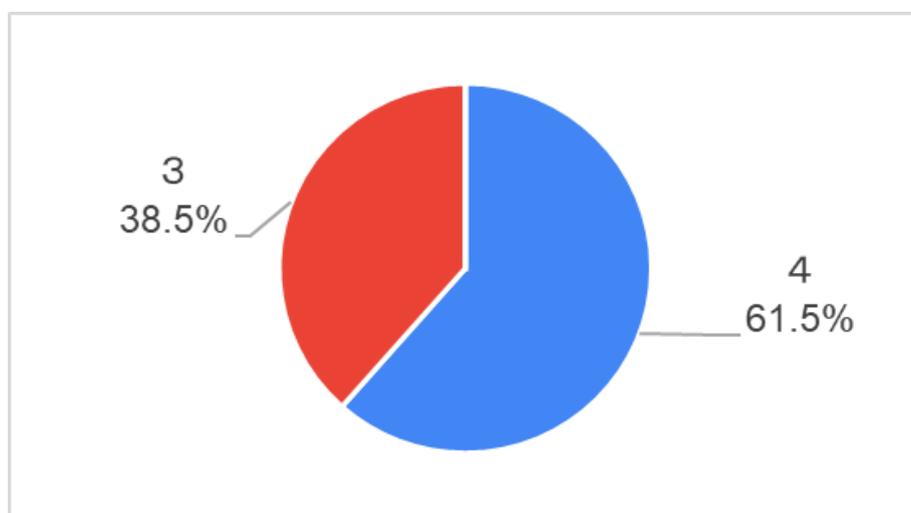
⑮ 授業中の私語や居眠りなど、授業態度について適切に指導している。



⑩ 生徒の学習の動機づけとして、資格取得を奨励している。(該当教科のみ)



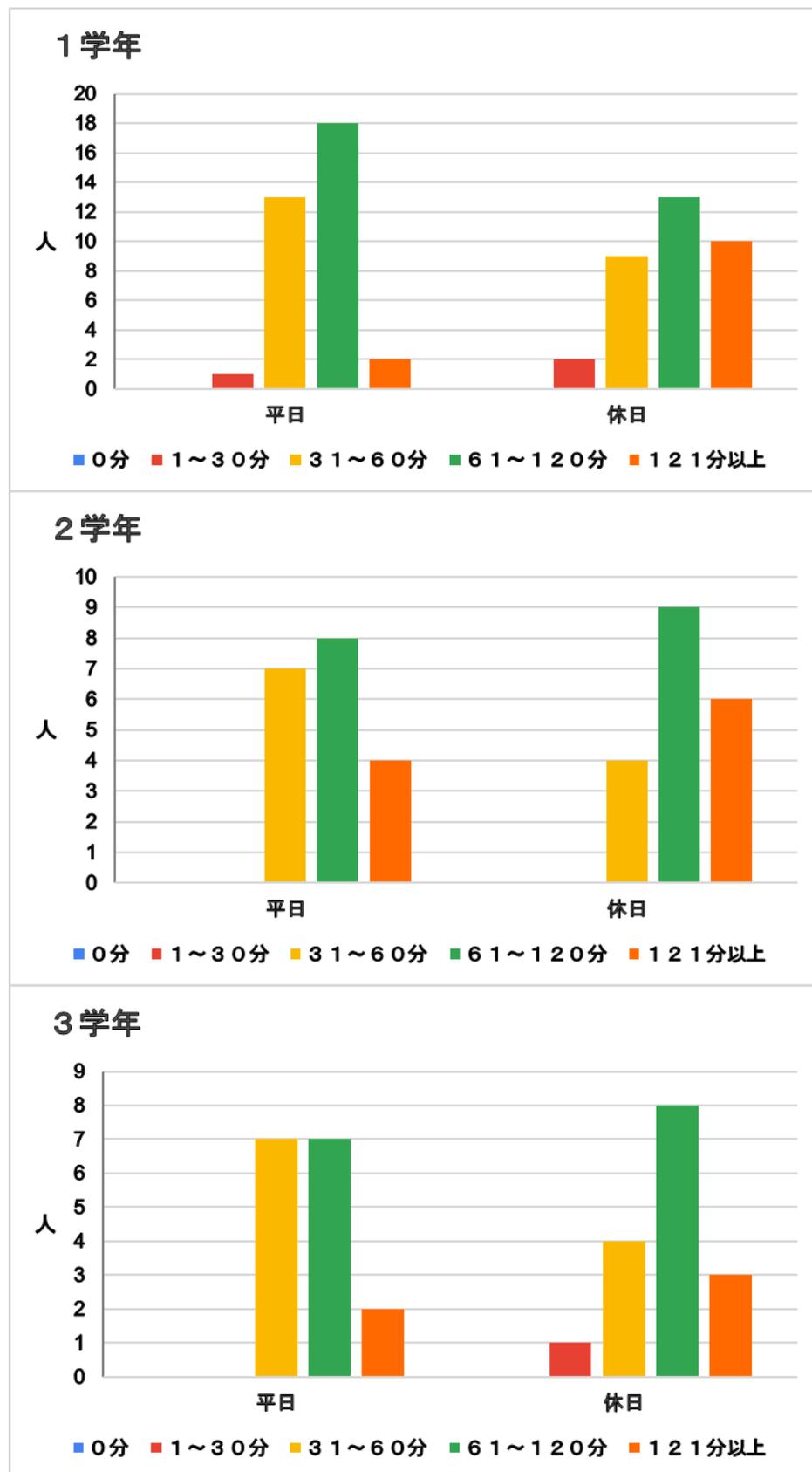
⑪ 授業交換や代講等により授業時数の確保に努めている。



大半が肯定的な評価である。特に⑤習熟度別授業、⑨授業力の向上、⑩声の大きさや話し方、⑪質問に対する丁寧な回答、⑬ICT機器の活用、⑯資格取得の奨励、⑰授業時間の確保について「そう思う」の評価が高く、意識して実践していることがわかる。その一方、⑧年間指導計画通りの授業については「そう思わない」の回答がある。生徒の実態を踏まえながら個別最適化された授業を進めていくことが多く、当初と異なる進捗になってしまうケースがある。その他の質問においても、より「そう思う」の回答が増えるように改善していく必要がある。

## 6 生徒アンケート

### (1) 家庭学習時間について

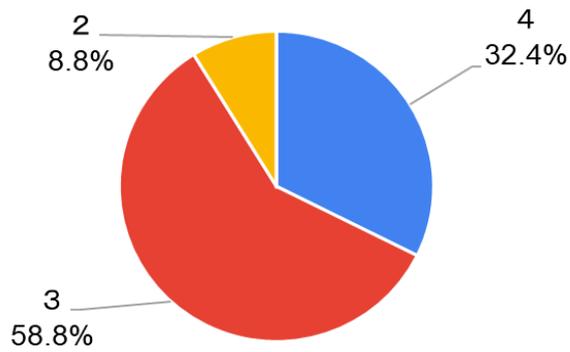


昨年と比べると平日、休日とも、全学年において学習時間が増えている。また、1学年より2、3学年の学習時間が長くなっている。進路等を踏まえて、勉強する意識が高まっている様子が窺える。今年度から全学年で実施している毎日の自学ノートの効果が表れていると思われる。しかし、30分未満の生徒も複数おり、継続的な指導が今後も必要である。

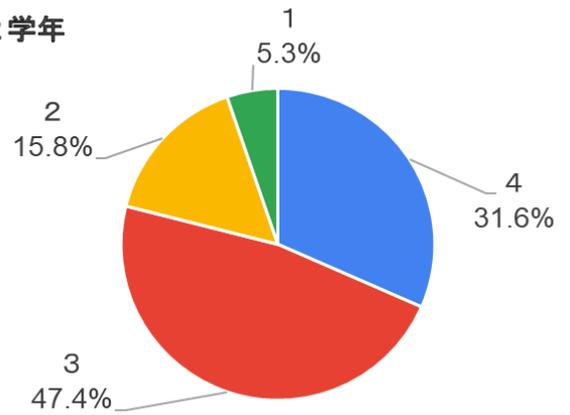
(2) 学校生活について

① 私は規則正しい生活を送ることができる。

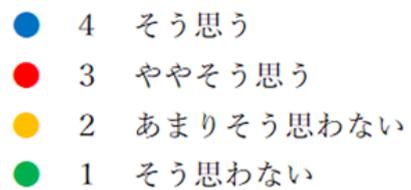
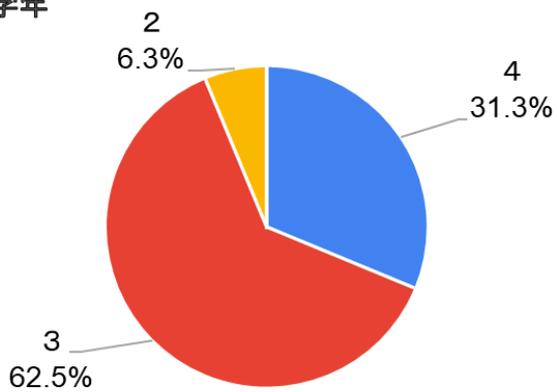
1 学年



2 学年

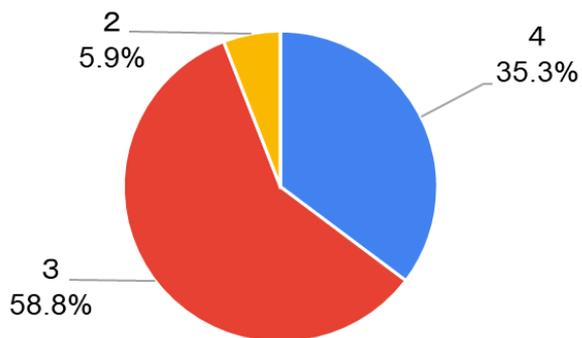


3 学年

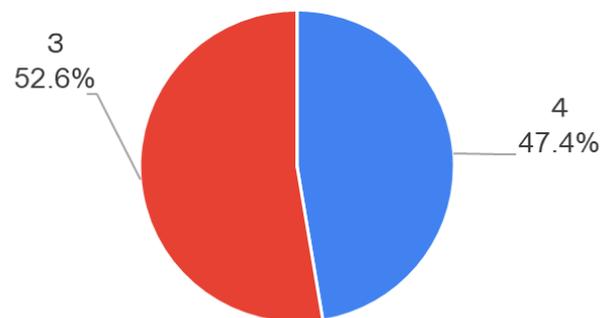


② 私は、礼儀やマナー、校則を守って生活している。

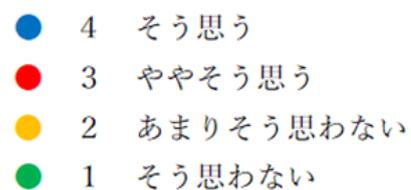
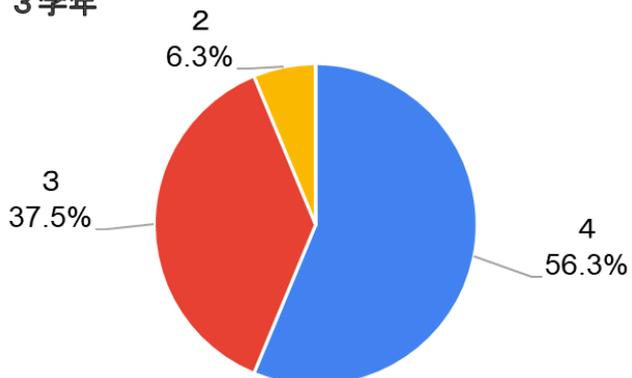
1 学年



2 学年

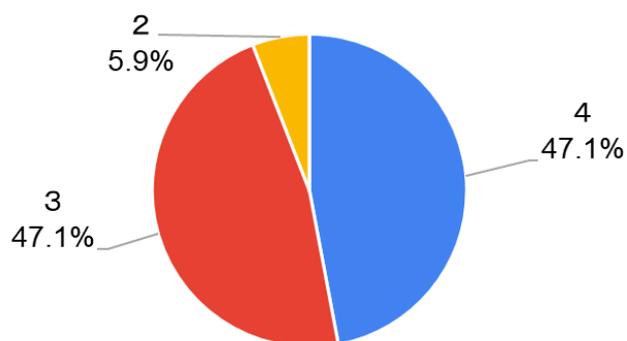


3 学年

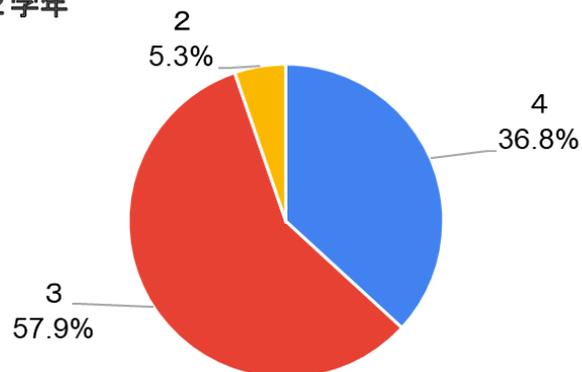


③ 私は、学校行事に積極的に参加している。

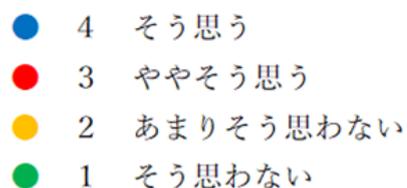
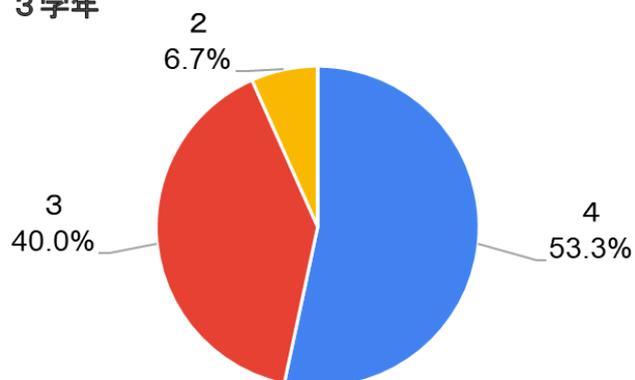
1 学年



2 学年

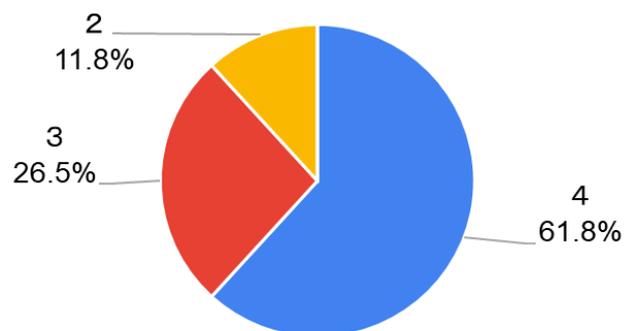


3 学年

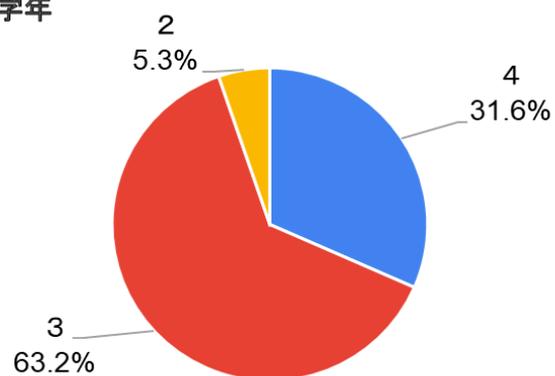


④ 私は、部活動、専門委員会活動などに積極的に取り組んでいる。

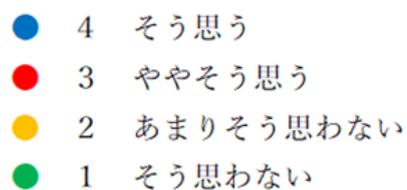
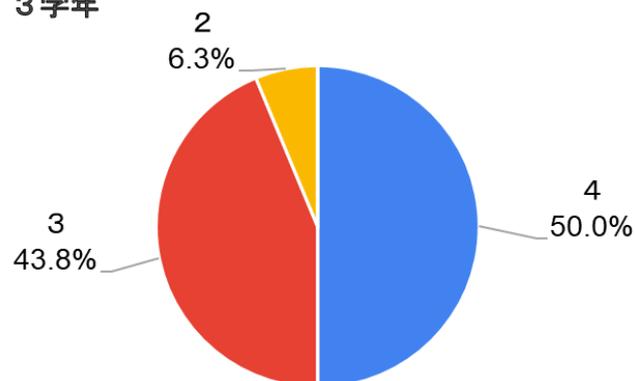
1 学年



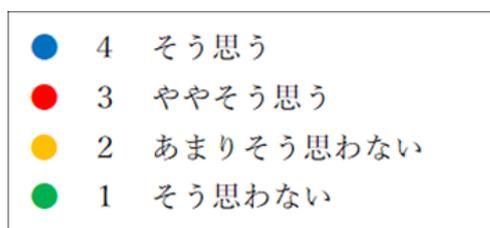
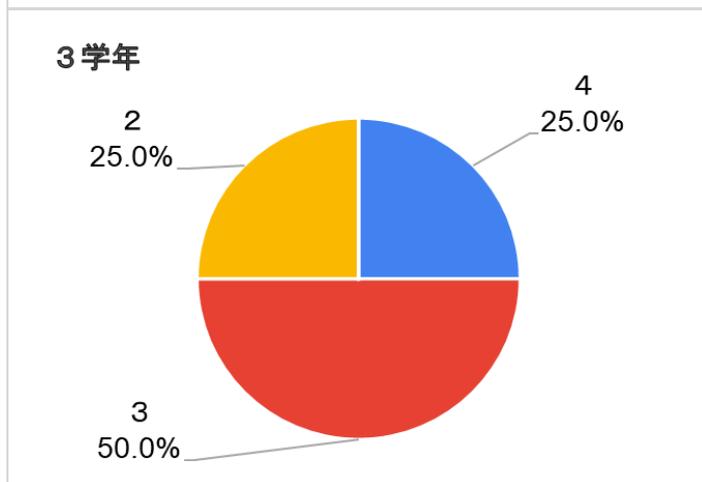
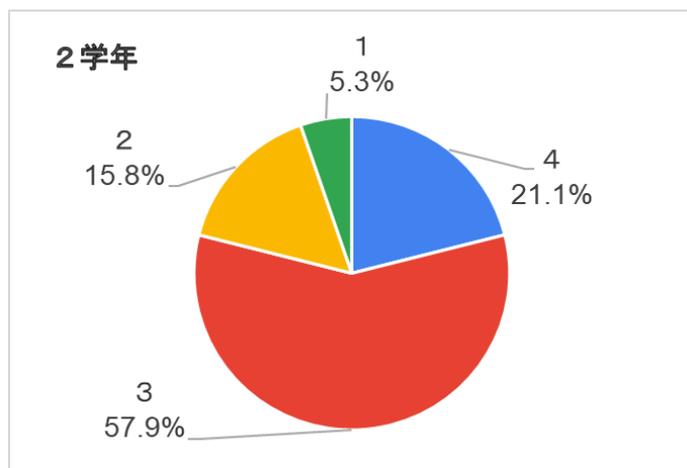
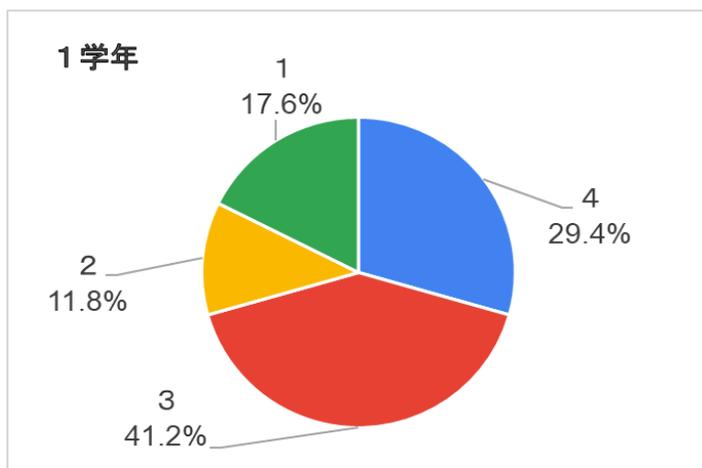
2 学年



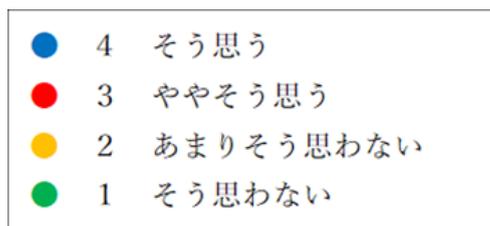
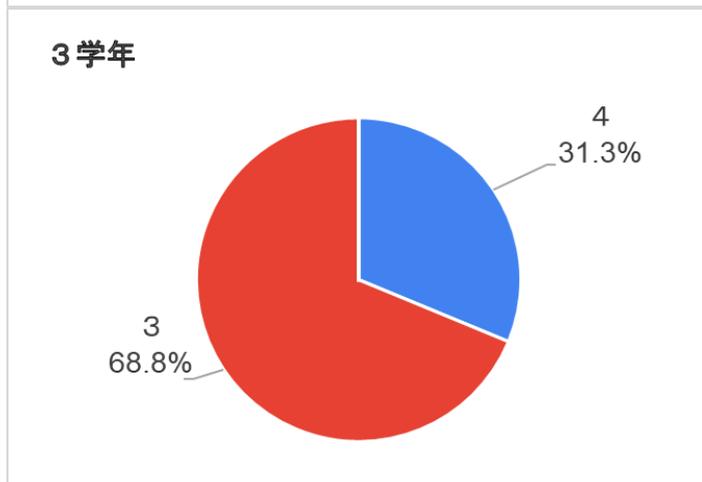
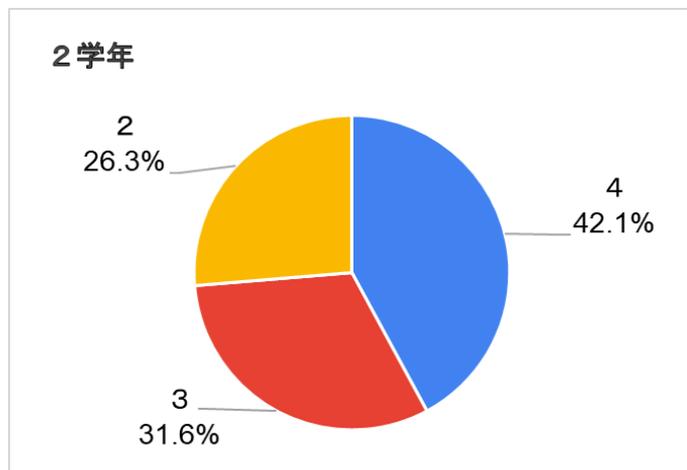
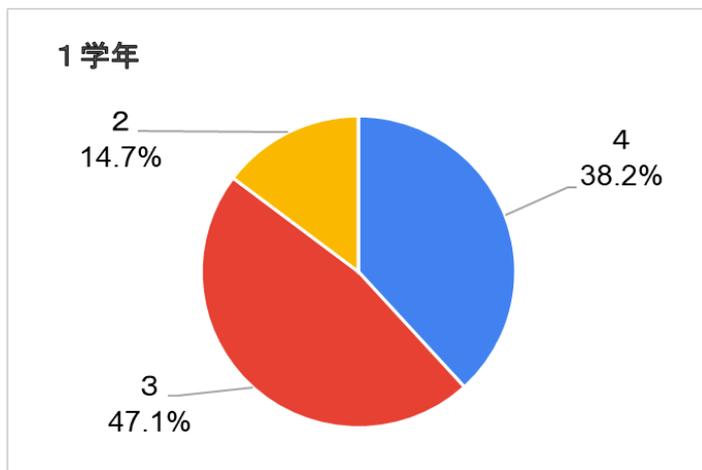
3 学年



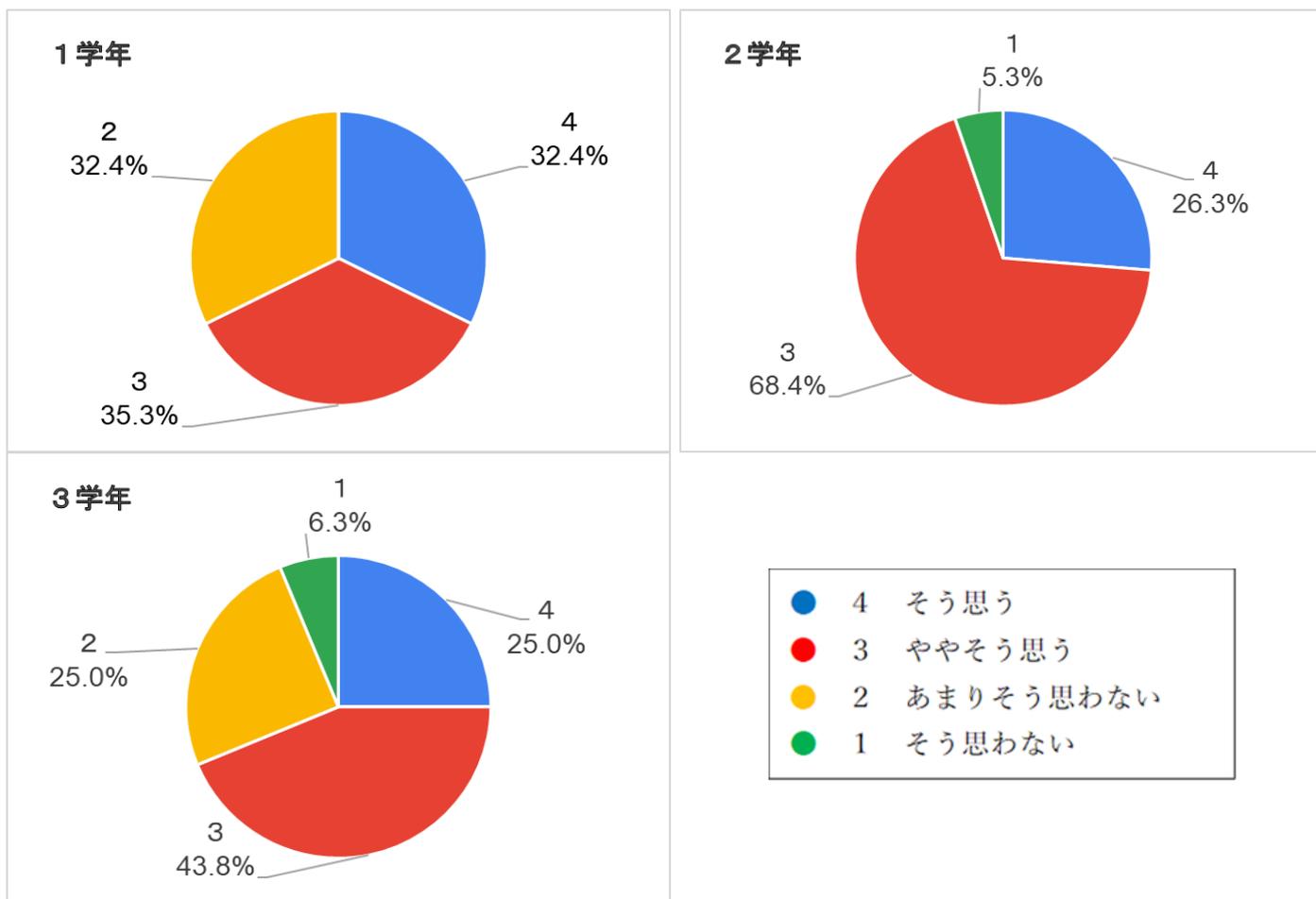
⑤ 私は、ボランティア活動などで地域の活動に積極的に取り組んでいる。



⑥ 私は、自分の健康のため、食事や衛生面に気をつけて生活している。



⑦ 私は、川口高校の学校生活に満足している。



1では、特に2学年において、規則正しい生活を送れていないことを自覚している生徒が複数いることが確認できる。基本的な生活習慣の確立に向け、継続的に指導が必要である。

2では、ほとんどの生徒が校則を守っていると考えているようである。今後も継続して、校則を守れるように指導していく必要がある。

3では、生徒たちが学校行事に積極的に参加していることが窺える。一部「あまりそう思わない」の回答は、大勢での活動が苦手な生徒によるものと思われる。

4では、部活動・委員会活動に対して全学年において「そう思う」「ややそう思う」が9割程度であり、積極的に取り組む姿勢が見られる。

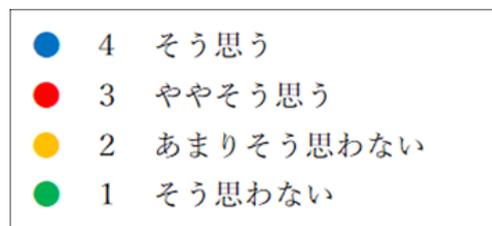
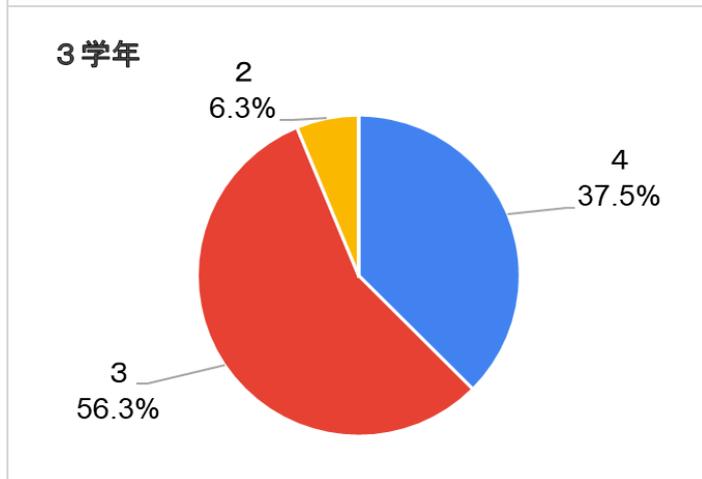
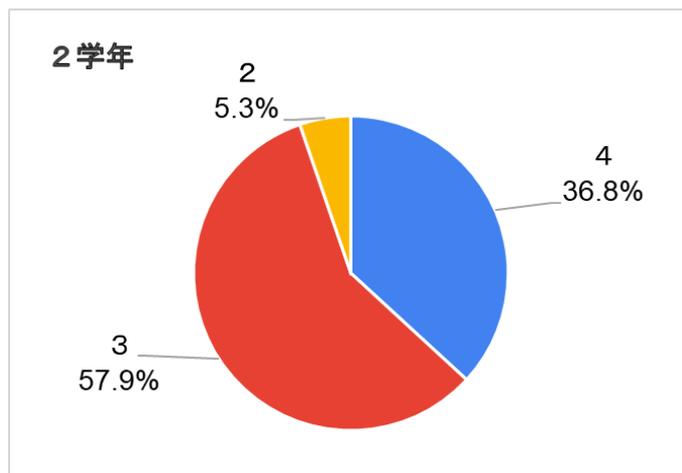
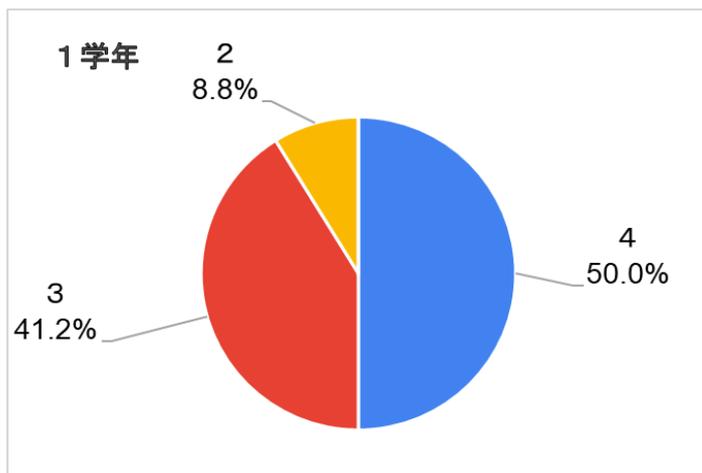
5では、地域の活動に参加できていないという回答が多かった。沼沢湖水まつりや環境美化活動等、地域ボランティア活動の取り組みは行っており、取り組む姿勢やボランティアに対する意識を高める必要がある。

6では、特に1, 2学年で否定的な回答が多い。学校でも体調不良を訴える生徒もおり、日頃からの健康管理について継続的な指導が必要である。また、寮生活における食事・睡眠等についても、町教育委員会との協力しながら、継続的な指導が必要である。

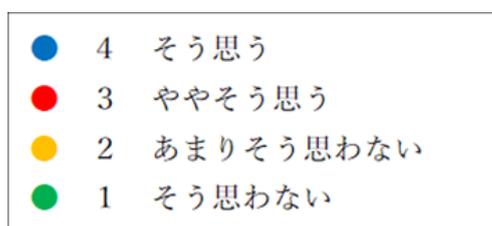
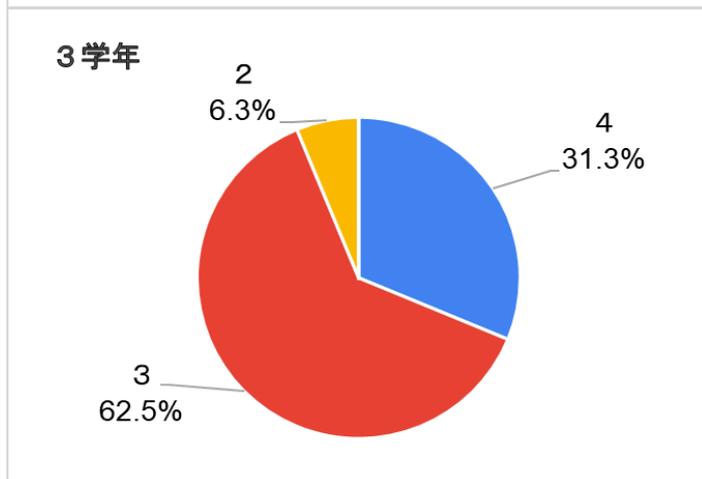
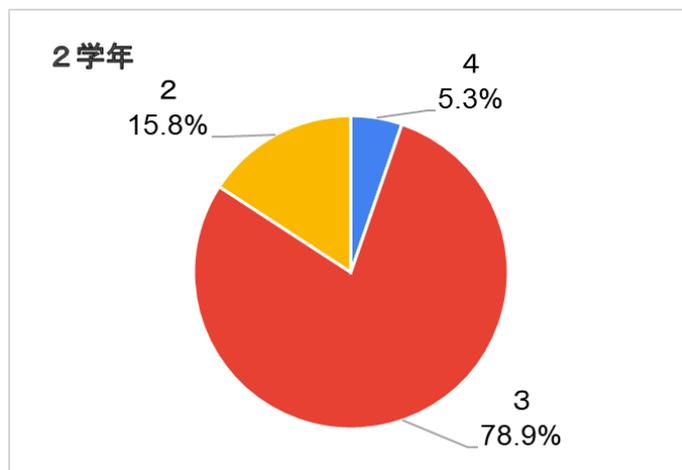
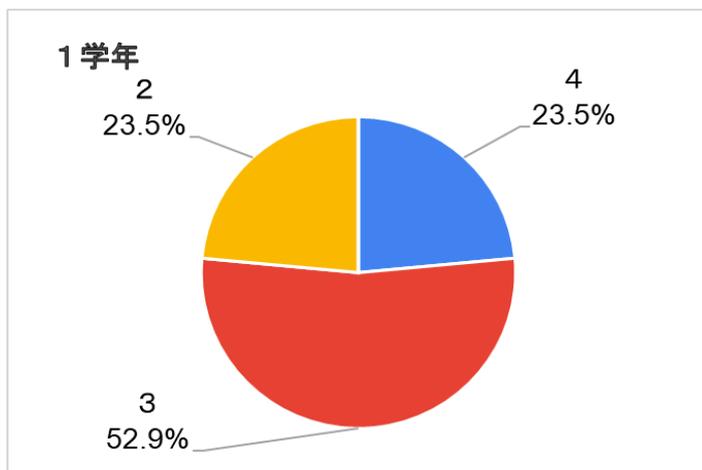
7では、学校生活に満足している生徒がいる半面、学年によっては「そう思う」「あまりそう思わない」の回答もあり、悩みアンケート等を活用した生徒把握・支援を引き続き行っていく必要がある。

(3) 授業、学習状況について

① 私は、授業中、集中して先生の話をしている。

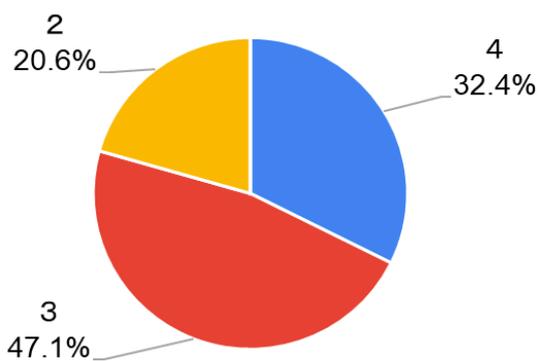


② 私は、授業で分からなかったところをそのままにせず、聞いたり調べたりして分かろうとしている。

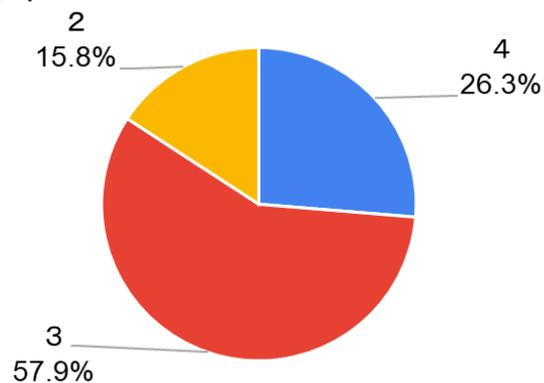


③ 私は、学力の向上を目指して、積極的に勉強している。

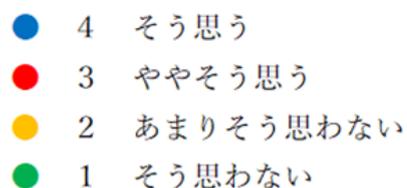
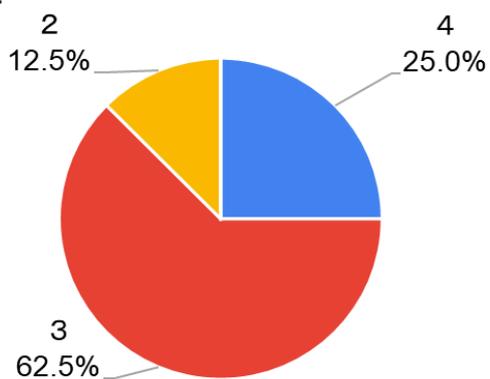
1 学年



2 学年

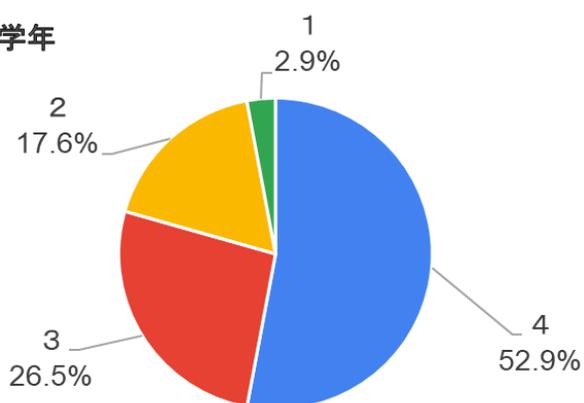


3 学年

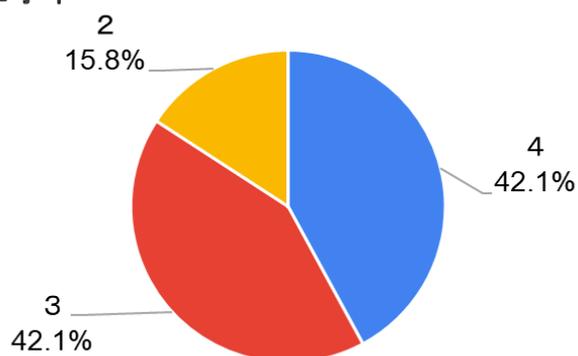


④ 私は、出された課題をきちんと提出している。

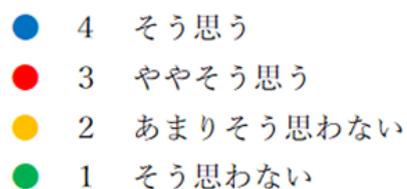
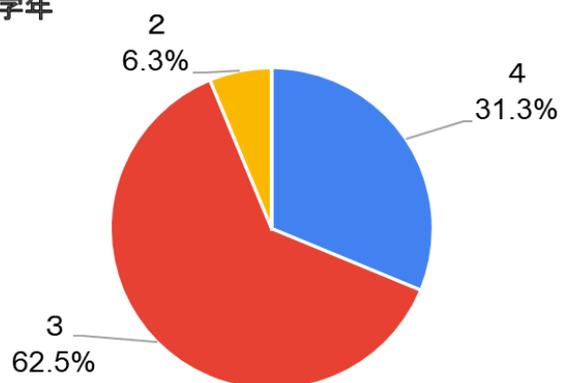
1 学年



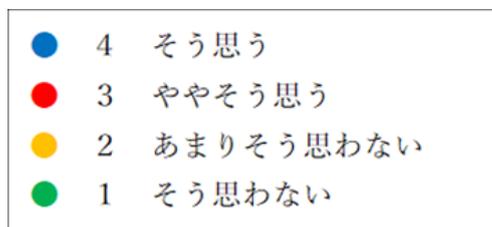
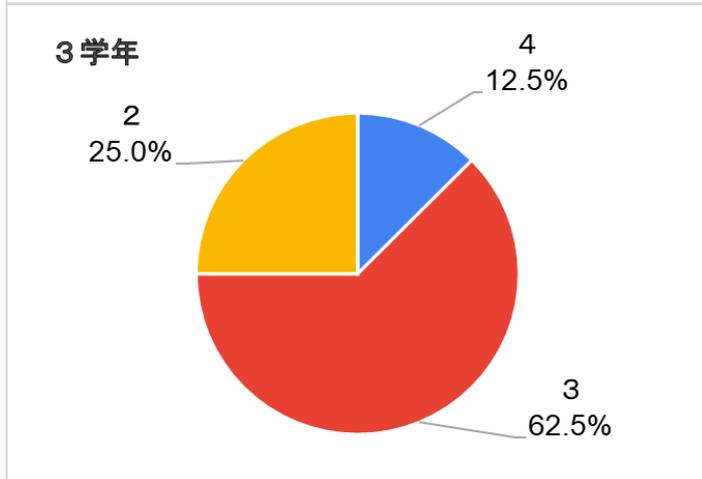
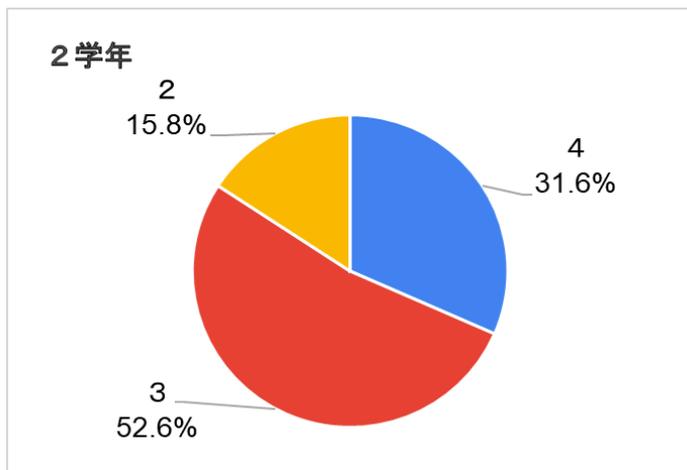
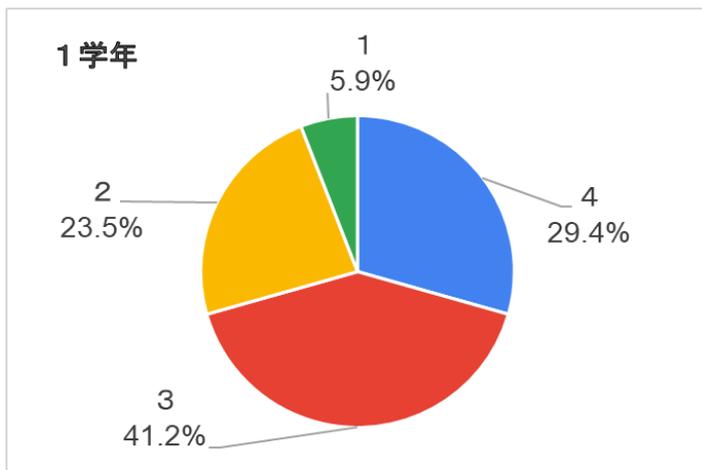
2 学年



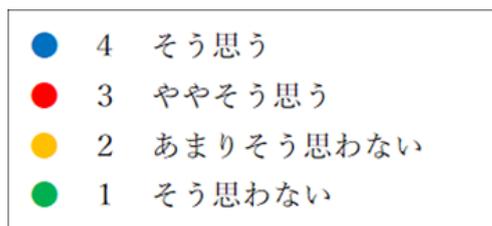
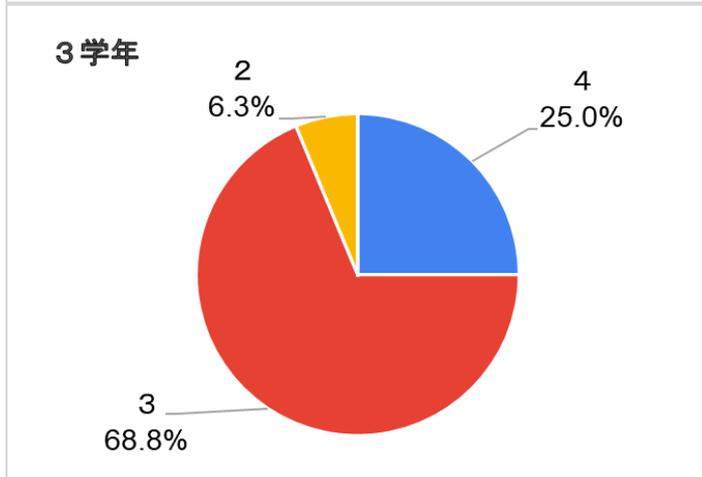
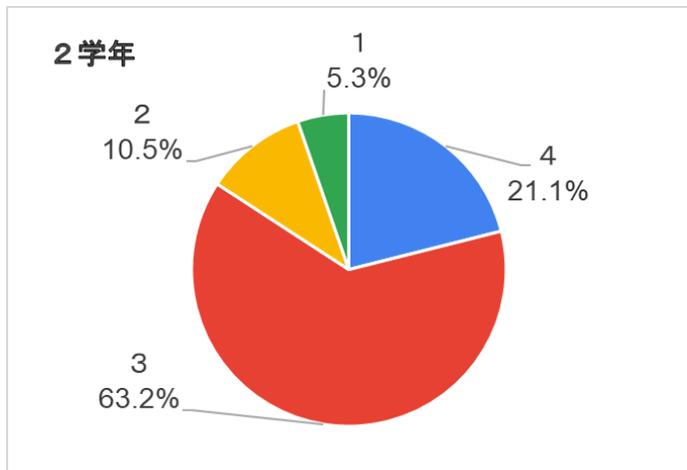
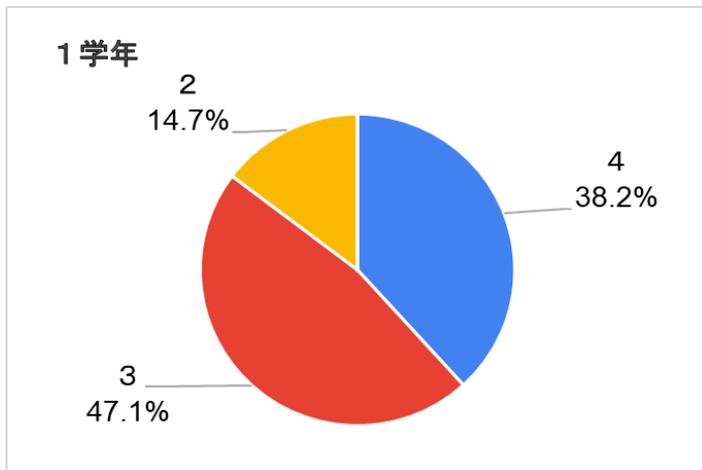
3 学年



⑤ 私は、予習や復習など、家庭での学習を習慣として行っている。



⑥ 私は、定期考査前は、計画を立てて、いつも以上に学習している。

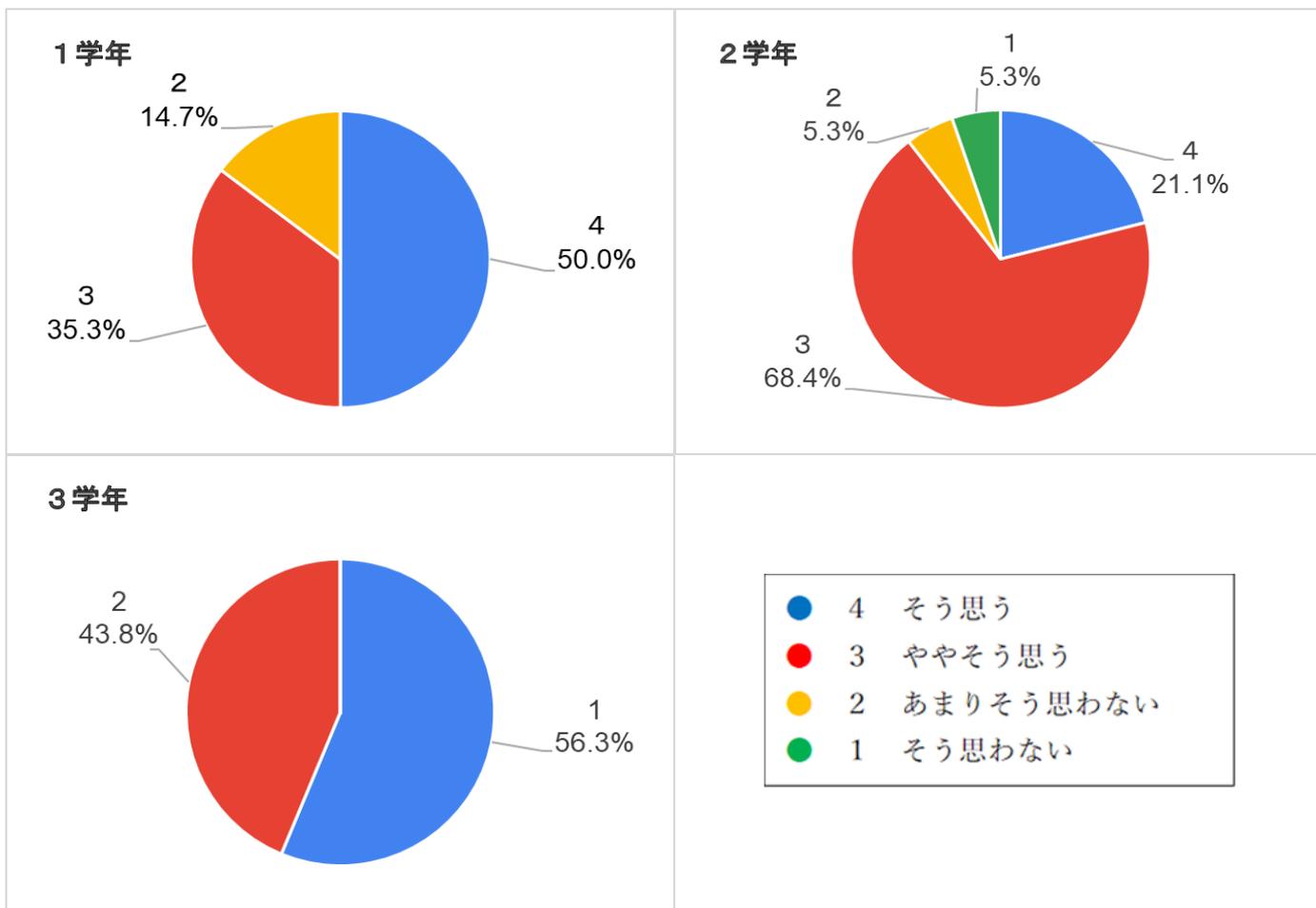


ほとんどの生徒が集中して授業を受け、授業で分からなかった内容に対して、理解しようとする努力をしている。また、学力の向上を目指して積極的に勉強していると回答している割合も高い。しかし、2割程度は「あまりそう思わない」の回答であり、授業と勉強の大切さを理解させながら、意識的に取り組ませる必要がある。

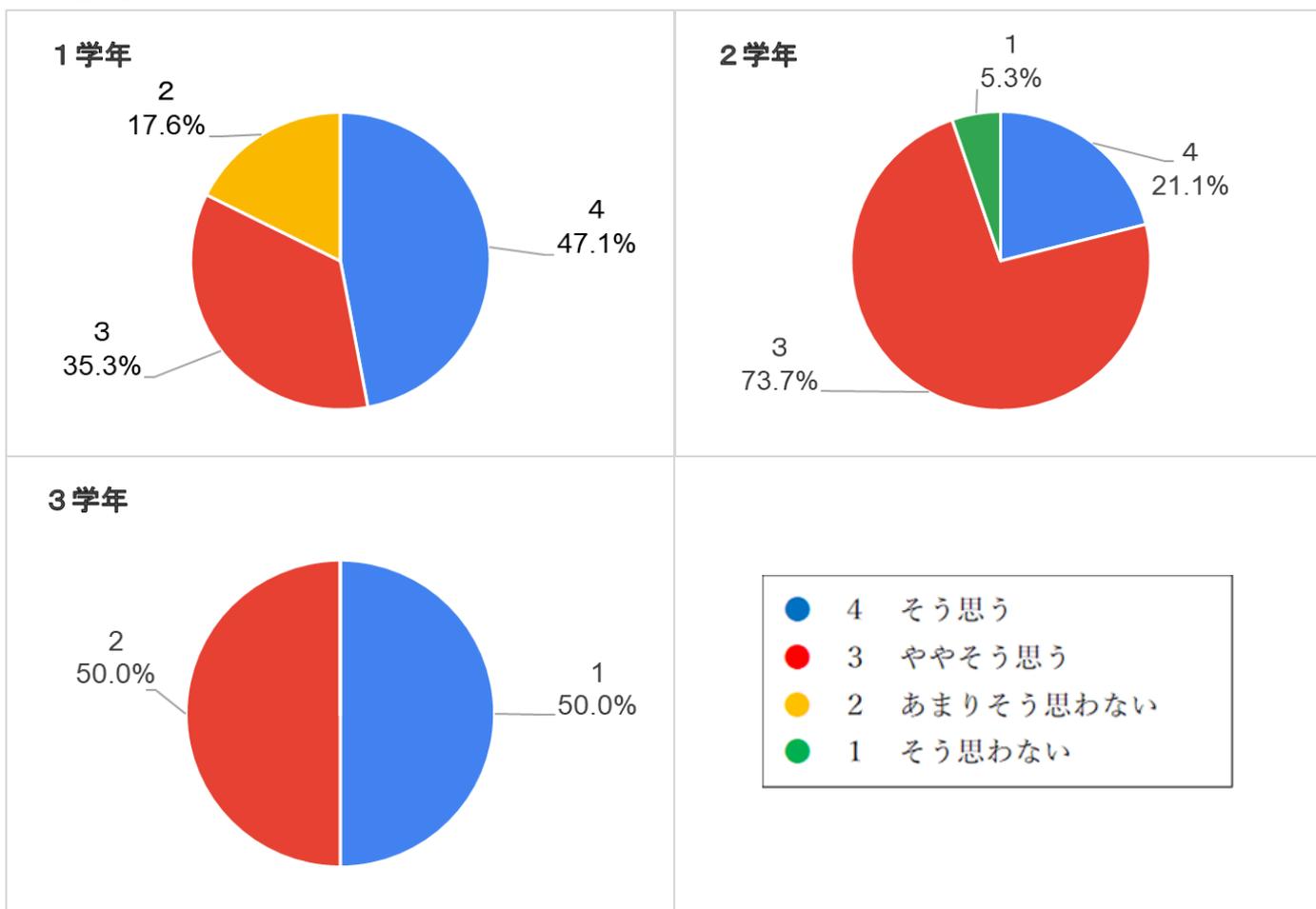
課題への取り組みにおいては、全員が提出しなければならないはずであるが、1, 2学年に「あまりそう思わない」の回答が多い。家庭学習が習慣化されていない割合は全学年2割程度ある。課題を期日までに必ず提出させるとともに、家庭学習の時間が増えるように継続的な指導が必要である。

(4) 私が所属する習熟度別クラスは、

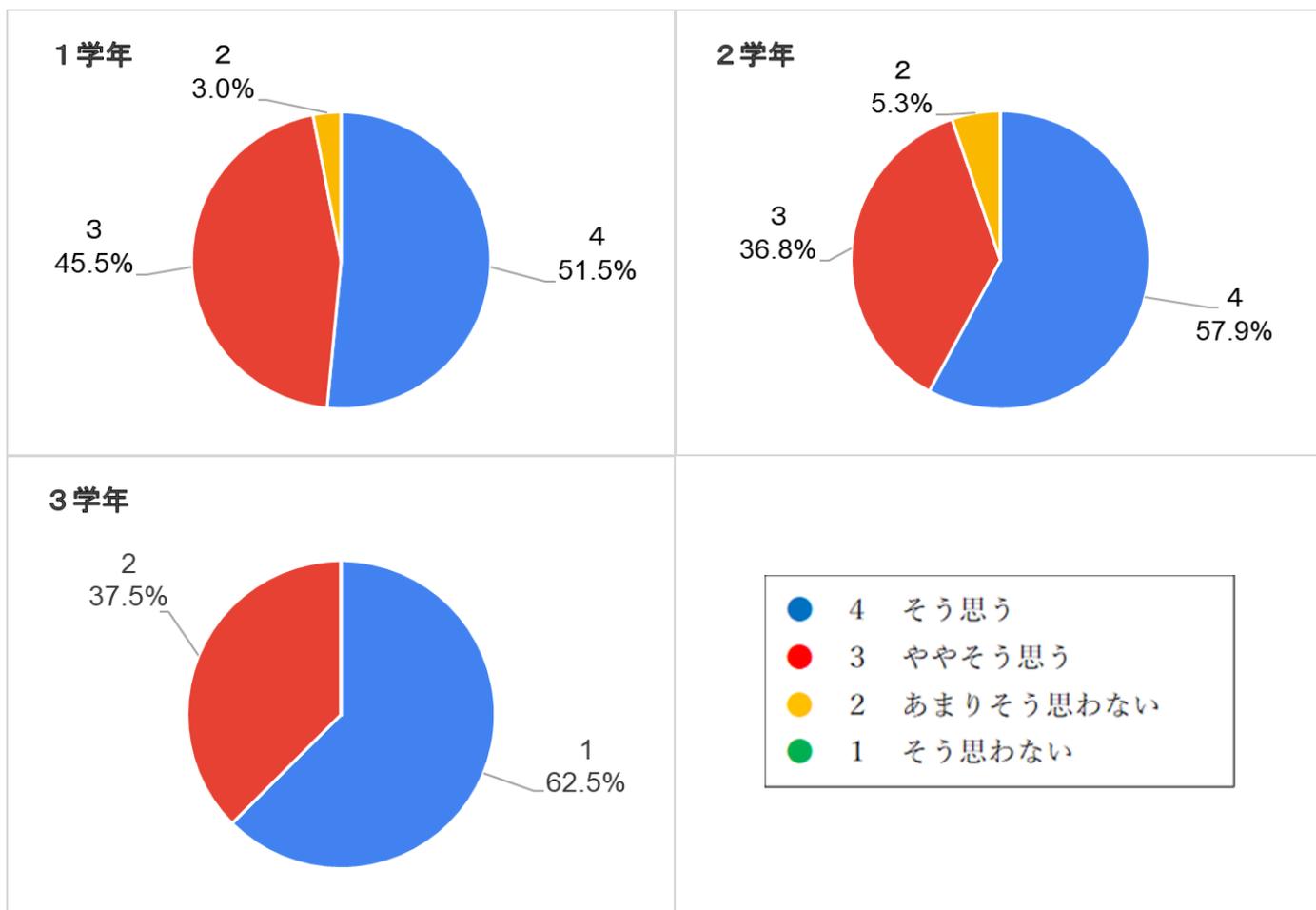
① 自分の学力にあっていた。



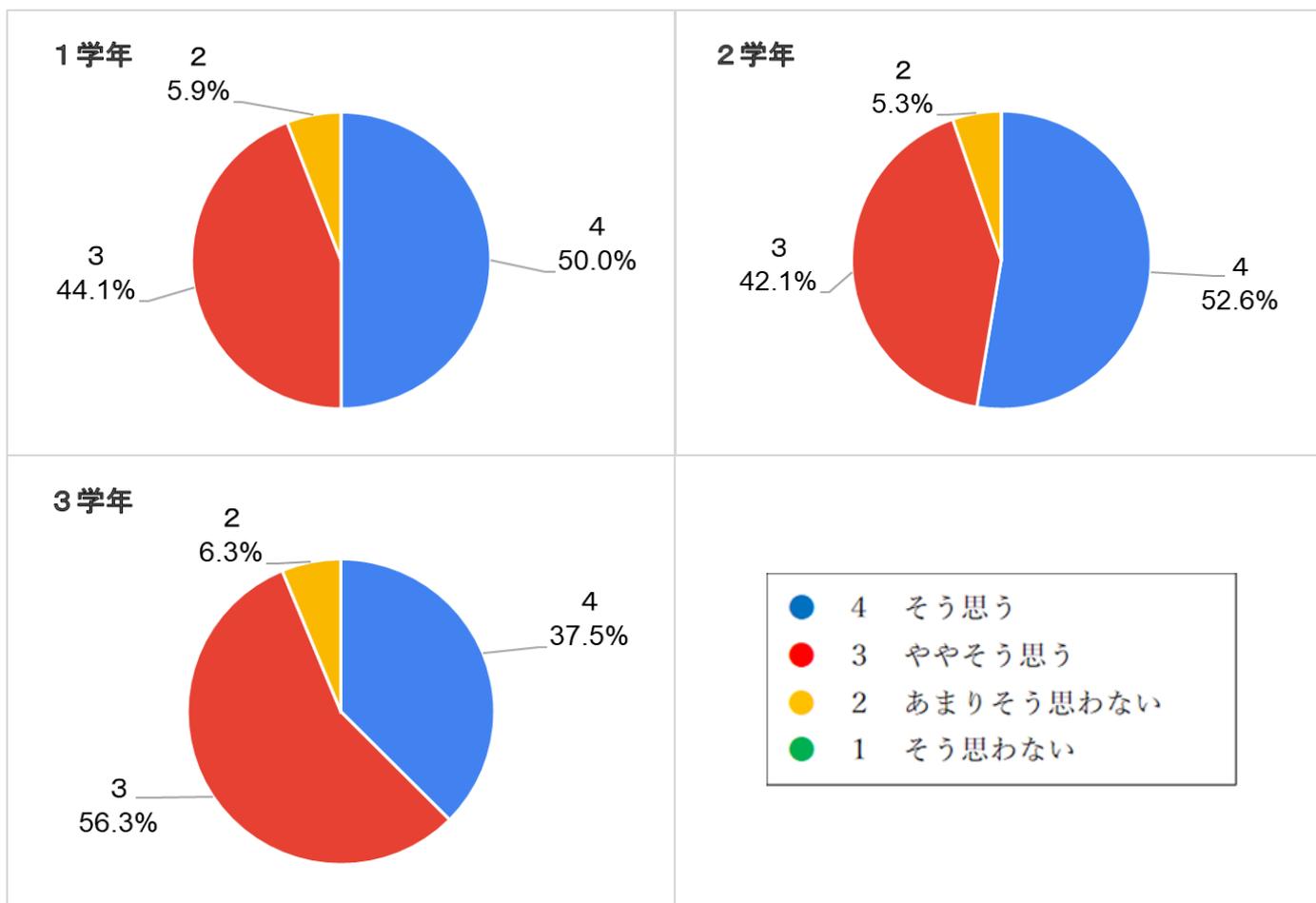
② 授業の進度が、自分には合っていた。



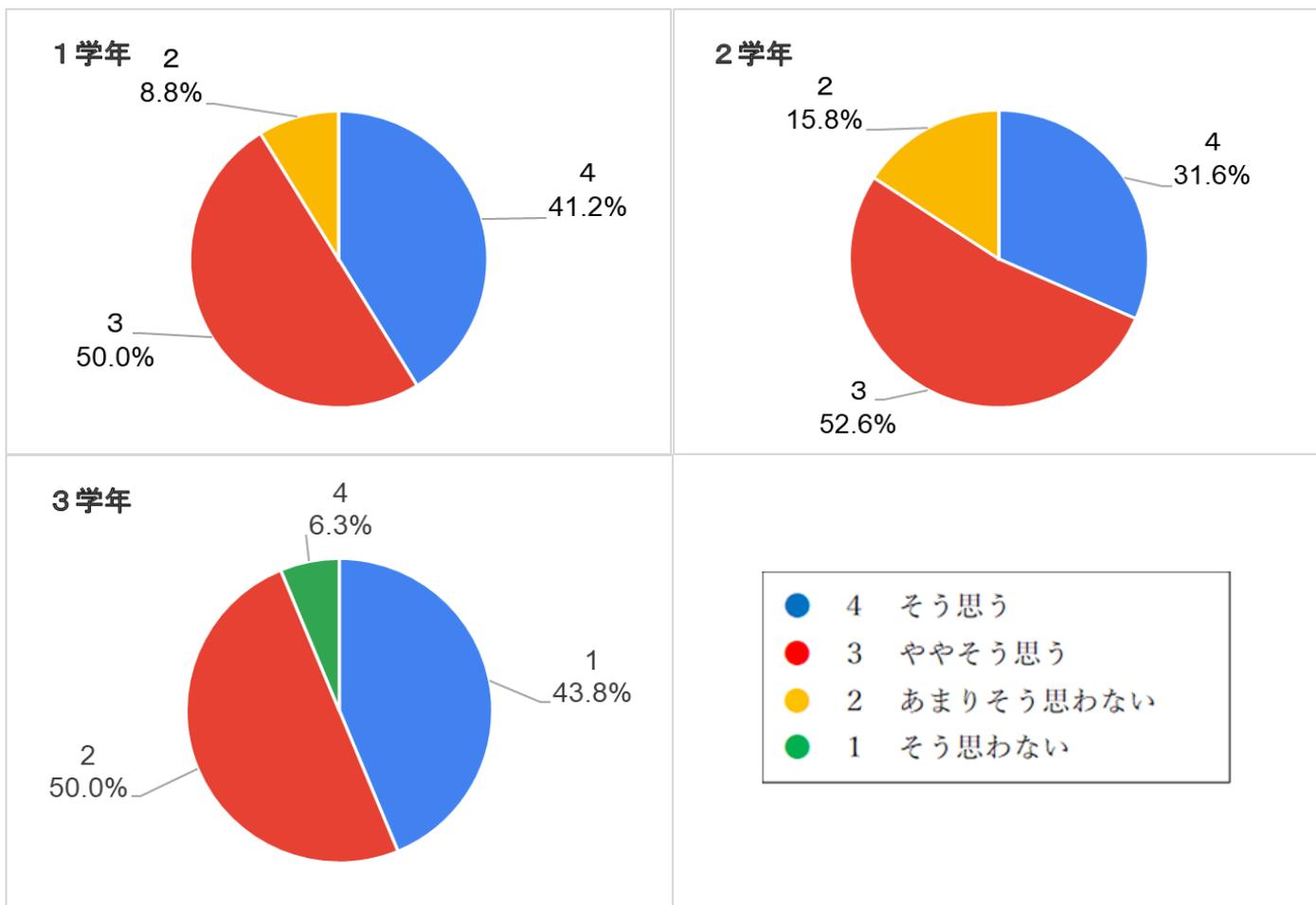
③ 先生が、分かりやすく教えてくれた。



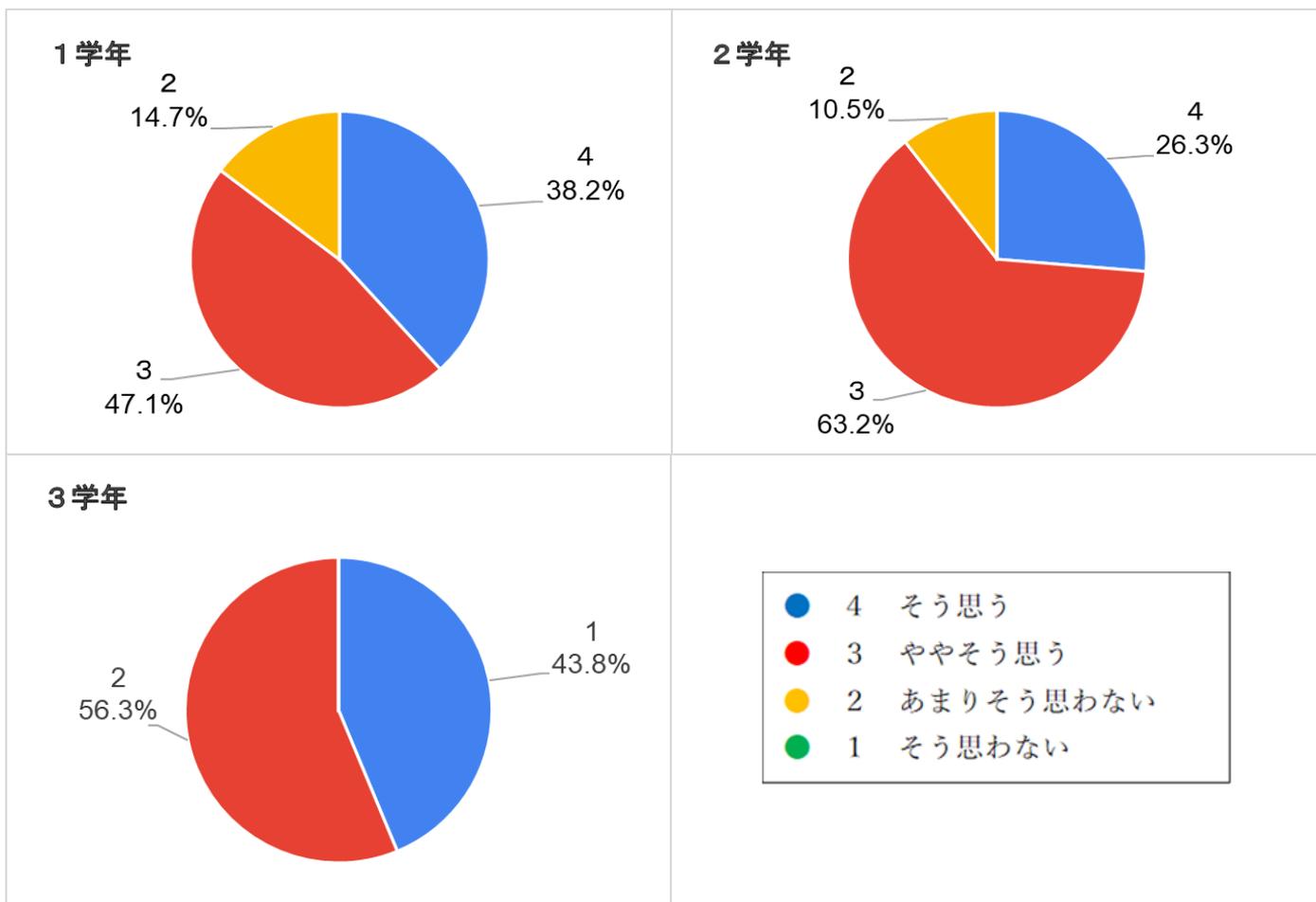
④ ノートや課題などの提出物を先生がていねいに見てくれた。



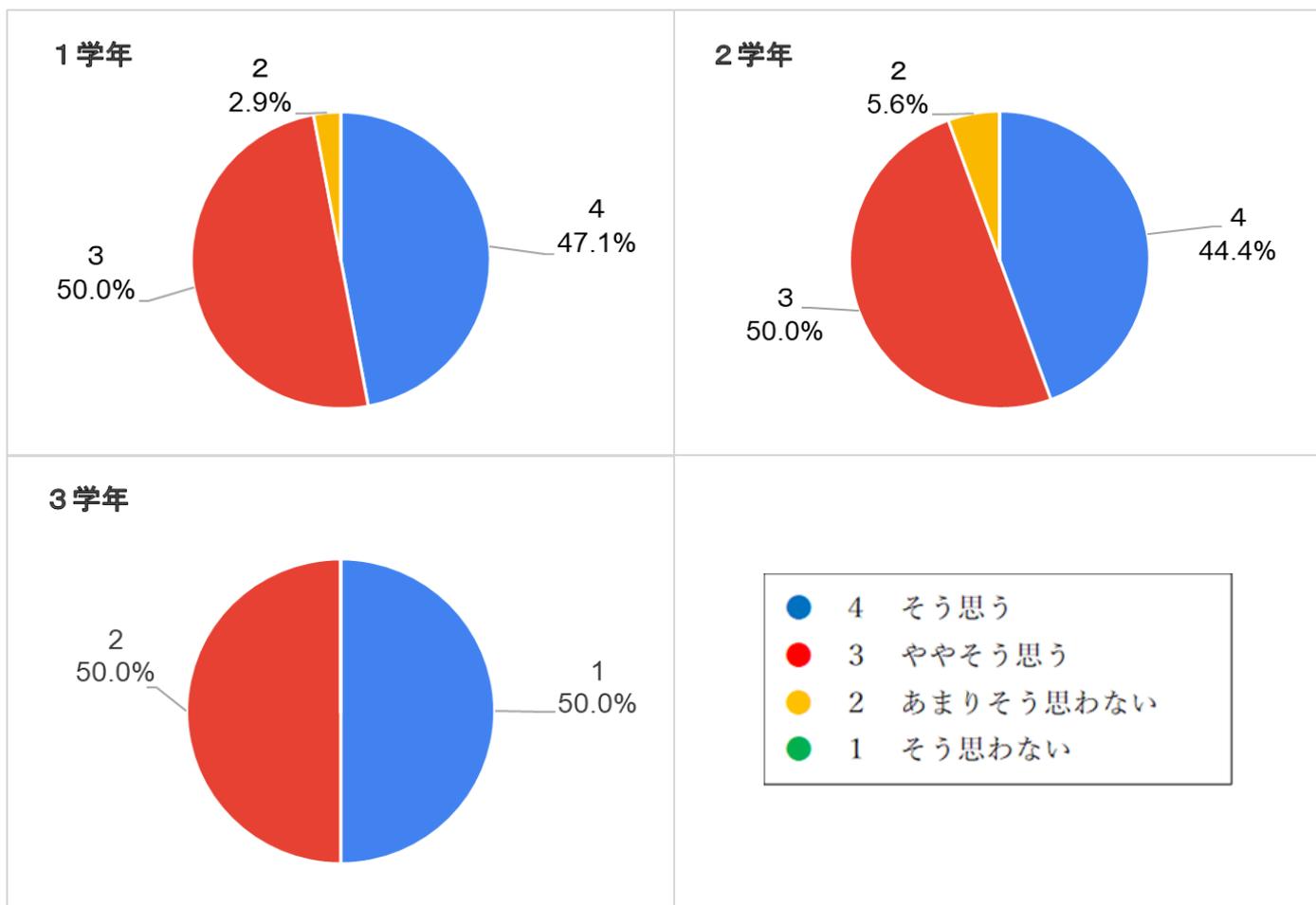
⑤ がんばった分だけ先生がきちんと評価してくれたため、やる気が増した。



⑥ 教科書以外のことも先生は教えてくれたため、学ぶことへの興味が増した。



⑦ 質問に先生がていねいに答えてくれたため、よく理解することができた。



ほぼ全ての質問に対し、「そう思う」「ややそう思う」という回答がされている。一部、そうでない部分があるが、1学年の場合は今年度の入学者が例年より多く、希望するクラスに入ることができなかった生徒がいたため、2学年の場合は1学年にはあったγ(ガンマ)クラスが2学年以降は無くなるためだと考えられる。以上のことから、本校の習熟度別授業は機能していると考えられる。ただし、生徒の進路や学力を考慮したより良い習熟度別授業を引き続き目指していくことが必要である。